

「牛乳食生活動向調査2014」

改めて確認されたこと。新しく分かったこと。

～最終公表版～

2015年3月3日



一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)

P 4 調査の概要

1. 牛乳飲用に関する行動や意識の主要な変化（2012～2014）

- P 6 (1) 牛乳類飲用（利用）頻度の変化
 P 7 (2) 牛乳を大切に思う気持ちの変化
 P 8 (3) 共感性の変化

2. 牛乳飲用の基本動向

- P 10 (全世代／1) 牛乳類飲用（利用）頻度
 P 11 (全世代／2) 牛乳飲用頻度の変化（飲用量の増減）
 P 12 (全世代／3-1) 牛乳飲用頻度の上昇理由
 P 15 (全世代／3-2) 牛乳類の購入場所（飲用増加者の特徴）
 P 16 (全世代／3-3) 牛乳飲用頻度の低下理由
 P 20 (全世代／3-4) 牛乳飲用量が減少している人で摂取が増加している食品・飲み物
 P 21 (全世代／4) 牛乳を大切に思う気持ち
 P 22 (全世代／5) 牛乳の美味しさ認識
 P 23 (全世代／6) 牛乳の国産優先意識
 P 24 (母と子／1) 子どもの牛乳飲用頻度（学乳外）
 P 25 (母と子／2) 学乳有無別の子どもの牛乳飲用頻度（学乳外）
 P 26 (母と子／2) 子どもへの飲用希望頻度と飲んでもらいたい気持ちの変化
 P 27 (母と子／3) 牛乳を飲んでもらいたい気持ちが強まった理由
 P 28 (母と子／4) 牛乳を飲んでもらいたい気持ち弱まった理由
 P 29 (母と子／5) 子供が牛乳を初めて飲んだ年齢
 P 30 (母と子／6) 子ども（家族）にとって牛乳が大切と思う気持ち

3. 食生活や健康に関する行動や意識の基本動向

- P 32 (全世代1-1) 食事の状況
 P 33 (全世代1-2) 朝ごはんタイプ
 P 35 (全世代1-3) 昼ごはんタイプ
 P 37 (全世代2) 運動への取組の現状
 P 38 (全世代3) 健康行動（男性のみ）
 P 39 (全世代3) 健康行動（女性のみ）
 P 40 (全世代4-1) サプリメント利用
 P 41 (全世代4-2) 利用されているサプリメントのランキング
 P 42 (全世代5) 高血圧について
 P 43 (全世代6) 健康・栄養・牛乳に関する知識
 P 45 (母と子／1) 子どもの食事の状況

- P 46 (母と子／2) 子供に対する栄養摂取の希望
 P 47 (母と子／3) 子育ての目標
 P 48 (母と子／4) 「家庭の食事」で大切にすること
 ／「学校給食」の求めること
 P 49 (母と子／5) 学校などからの情報提供頻度と役に立つ提供情報の有無
 P 50 (母と子／6) 子どもの食事や食生活で困っていること
 P 51 (母と子／7) 子どもの体型
 P 52 (母と子／8) 子供へのサプリメント

4. ビッグママの食生活や健康に関する行動や意識の基本動向

- P 54 他の母親から相談された内容
 P 55 他の母親に自信を持ってコメントできる内容
 P 56 子どもの成長や食生活に関する「役に立つ情報・知識・アイデア」の情報源
 P 57 子ども（家族）にとって牛乳が大切と思う気持ち
 P 58 他の母親と牛乳乳製品の話をする

5. 牛乳飲用に影響を与えている諸要因

- P 60 (ライフスタイル／1) 家族形態別の飲用頻度
 P 61 (ライフスタイル／2) 朝食頻度別の飲用頻度
 P 62 (ライフスタイル／3) 現在の運動有無別の飲用頻度
 P 63 (ライフスタイル／4) サプリメント利用有無別の飲用頻度
 P 64 (健康意識／1-1) 男女・骨の状態に不安有無別の飲用頻度
 P 65 (健康意識／1-2) 男女・イライラや不眠の自覚有無別の牛乳飲用頻度
 P 66 (健康意識／1-3) 男女・生活習慣病に不安有無別の飲用頻度
 P 67 (健康意識／1-4) 男女・病気に不安有無別の飲用頻度
 P 68 (健康意識／2-1) 様々な健康意識・行動の有無別の飲用頻度
 P 69 (健康意識／2-2) 【男女別】健康意識・行動有無別の飲用頻度
 P 70 (健康意識／2-3) 【年代別】健康意識・行動の有無別の飲用頻度
 P 71 (牛乳への意識／1) 牛乳を大切に思う気持ちの有無別の飲用頻度
 P 72 (牛乳への意識／2) 牛乳を美味しく思う気持ち有無別の飲用頻度
 P 73 (牛乳への意識／3-1) 酪農家への共感意識有無別の飲用頻度
 P 74 (牛乳への意識／3-2) 牛乳メーカーへの共感意識有無別の飲用頻度
 P 75 (牛乳への意識／3-3) 牛乳販売店への共感意識有無別の飲用頻度

6. 「牛乳の日」認知状況

- P 77 「牛乳の日」認知状況（牛乳飲用頻度別）
 P 78 「牛乳の日」認知状況（牛乳飲用頻度増加者）

調査の概要

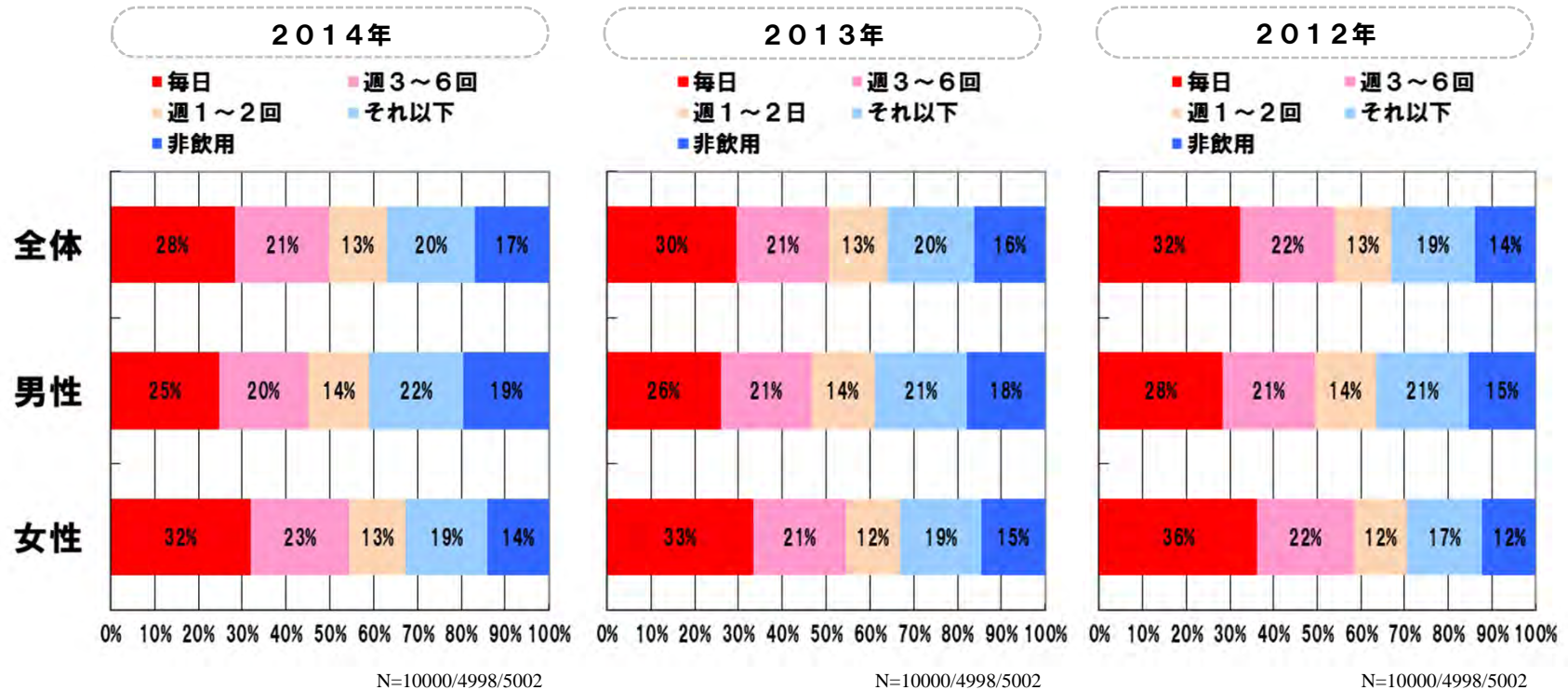
	第一次調査	第二次調査
調査手法	インターネットを活用した 消費者パネルに対する年1回のアンケート調査	
対象者	15～70代の男女	3～18才の子どもを持つ主婦 (※Jミルクの主たる生活者ターゲット) 子供の年齢分布について、第一次調査後確認し ひどい偏りがない場合は、割付を行わない
サンプル数	10,000サンプル (※今回は、上記に70代/395サンプルを追加)	600サンプル
実施時期	2014年10月	2014年11月
割付	総務省統計局の直近の人口構成データなどを参考に 実際の性別、年代、地域の構成比に近似させる。 (※一次調査の70代は除く)	

1. 牛乳飲用に関する行動や意識の主要な変化(2012～2014)

(1) 牛乳類飲用(利用)頻度の変化

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

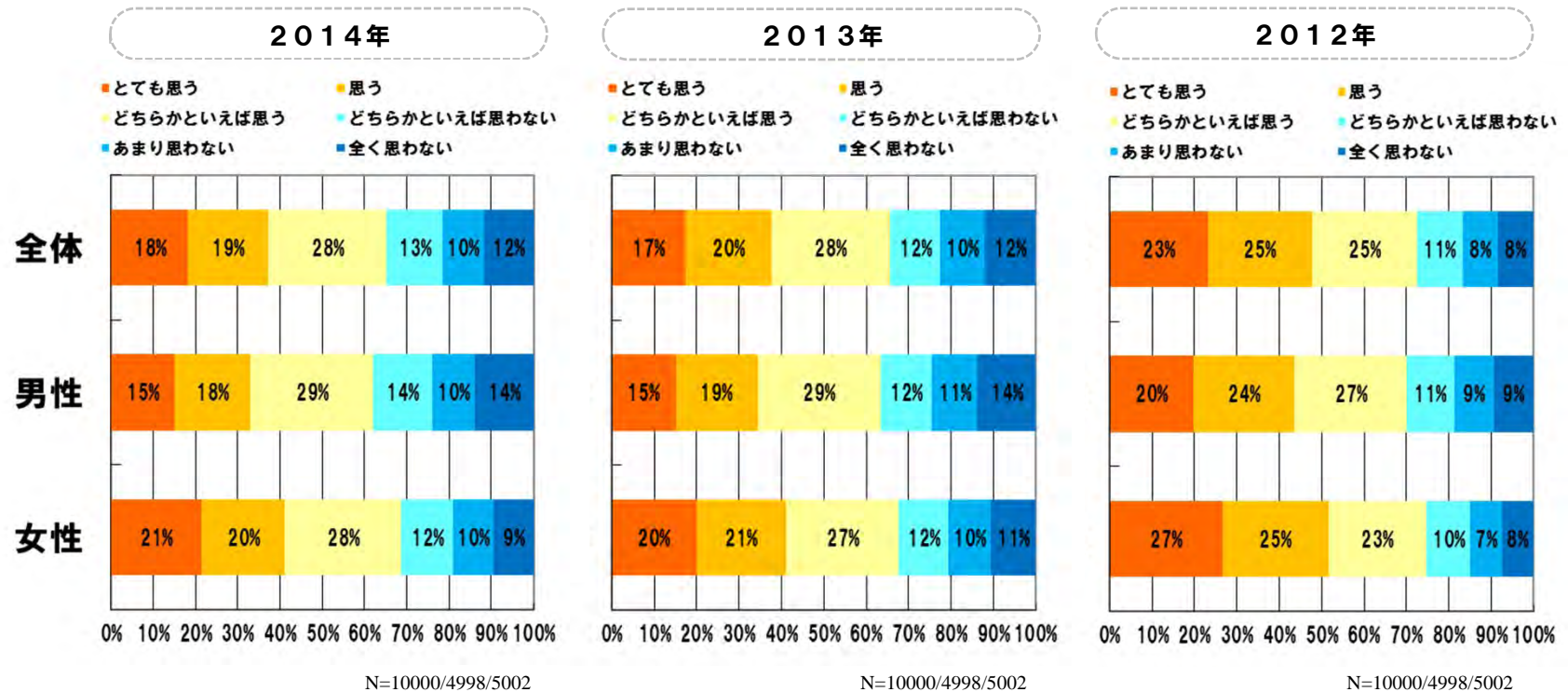
(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



**牛乳類の飲用頻度は全体／男性／女性ともに、
2012年から僅かに低下する傾向が継続。
この傾向は、全ての世代で同様の傾向**

(2) 牛乳を大切に思う気持ちの変化

あなたは「牛乳」のことを、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、
どれくらい思いますか。



**「牛乳を大切に思う気持ち」は全体／男性／女性ともに、
2013年からほぼ変化なし。
2012年→2013年にあった「弱まる」傾向が止まる。**

(3) 共感性の変化

乳牛を飼い、牛乳を生産する「酪農家」に対して、あなたは以下の「印象」や「気持ち」をどれくらい感じますか。
 牛乳を商品として製造する「牛乳メーカー（企業）」に対して、あなたは以下の「印象」や「気持ち」をどれくらい感じますか。
 牛乳を家庭に宅配している「牛乳販売店」に対して、あなたは以下の「印象」や「気持ち」をどれくらい感じますか。

酪農家

「誠実さ」の印象	感じる	感じない
2014年	75%	25%
2013年	73%	27%
2012年	72%	28%
「親しみ」の気持ち	感じる	感じない
2014年	66%	34%
2013年	61%	39%
2012年	60%	40%
「感謝」の気持ち	感じる	感じない
2014年	74%	26%
2013年	73%	27%
2012年	74%	26%

N=10000

牛乳メーカー

「誠実さ」の印象	感じる	感じない
2014年	62%	38%
2013年	54%	46%
2012年	55%	45%
「親しみ」の気持ち	感じる	感じない
2014年	60%	40%
2013年	52%	48%
2012年	54%	46%
「感謝」の気持ち	感じる	感じない
2014年	58%	42%
2013年	52%	48%
2012年	53%	47%

N=10000

牛乳販売店

「誠実さ」の印象	感じる	感じない
2014年	55%	45%
2013年	50%	50%
2012年	49%	51%
「親しみ」の気持ち	感じる	感じない
2014年	51%	49%
2013年	46%	54%
2012年	45%	55%
「感謝」の気持ち	感じる	感じない
2014年	52%	48%
2013年	47%	53%
2012年	46%	54%

N=10000

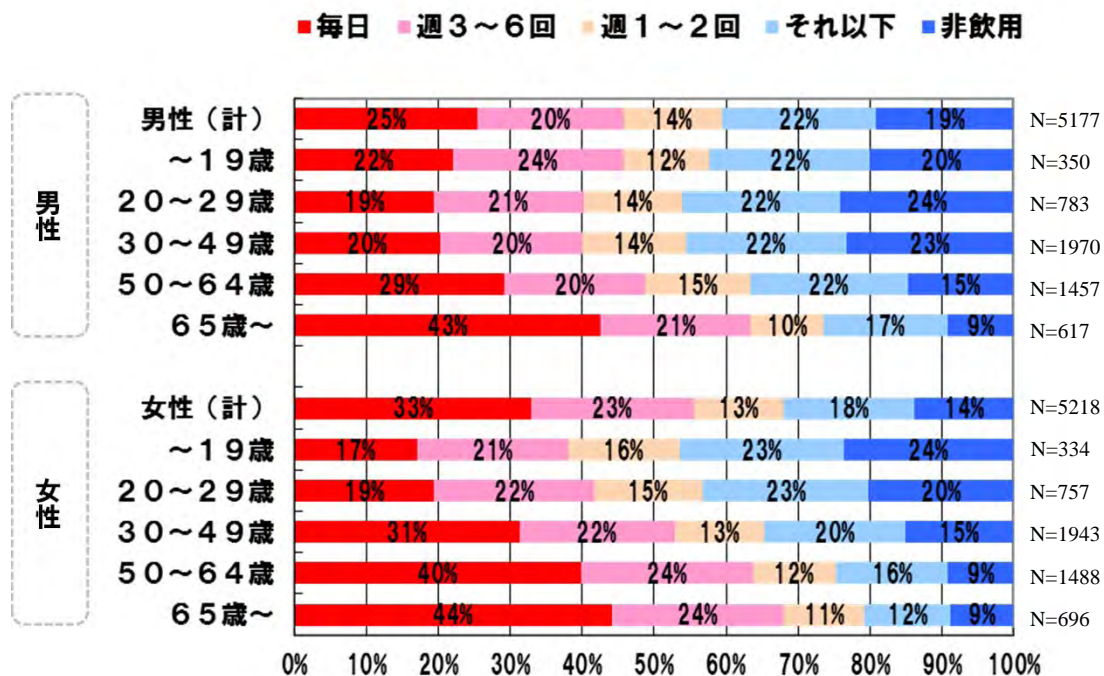
**酪農乳業に感じる共感性（誠実さ／親しみ／感謝）は
 2012年以来、全体として高まる方向で推移。
 酪農家は高い水準を維持し、乳業・販売店への共感性は2014年は上昇。**

2. 牛乳飲用の基本動向

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

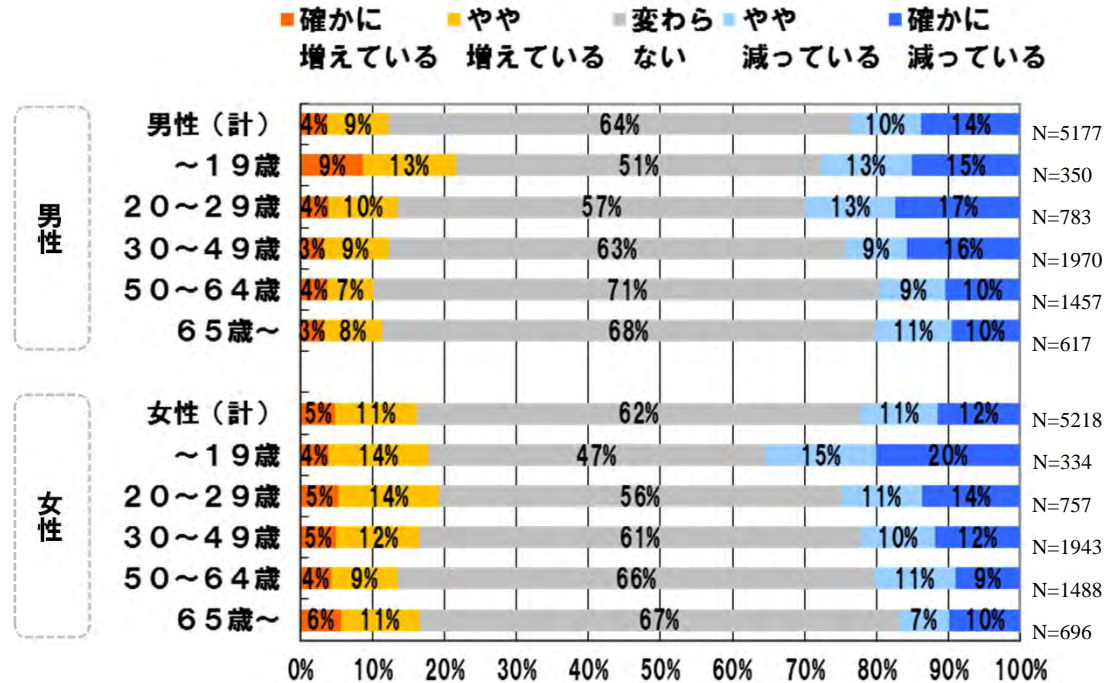
継続
新知見



牛乳飲用頻度は、男性より女性が高く、また何れも、年齢の高い世代ほど高い。
女性10代の飲用(利用)頻度は特に低い。
また、65歳以上男性で、飲用頻度が急に高くなる傾向。

(全世代／2) 牛乳飲用頻度の変化(飲用回数の増減)

最近のあなた自身が、「牛乳」を飲む量や回数は、今現在、増えたり減ったりしていますか。



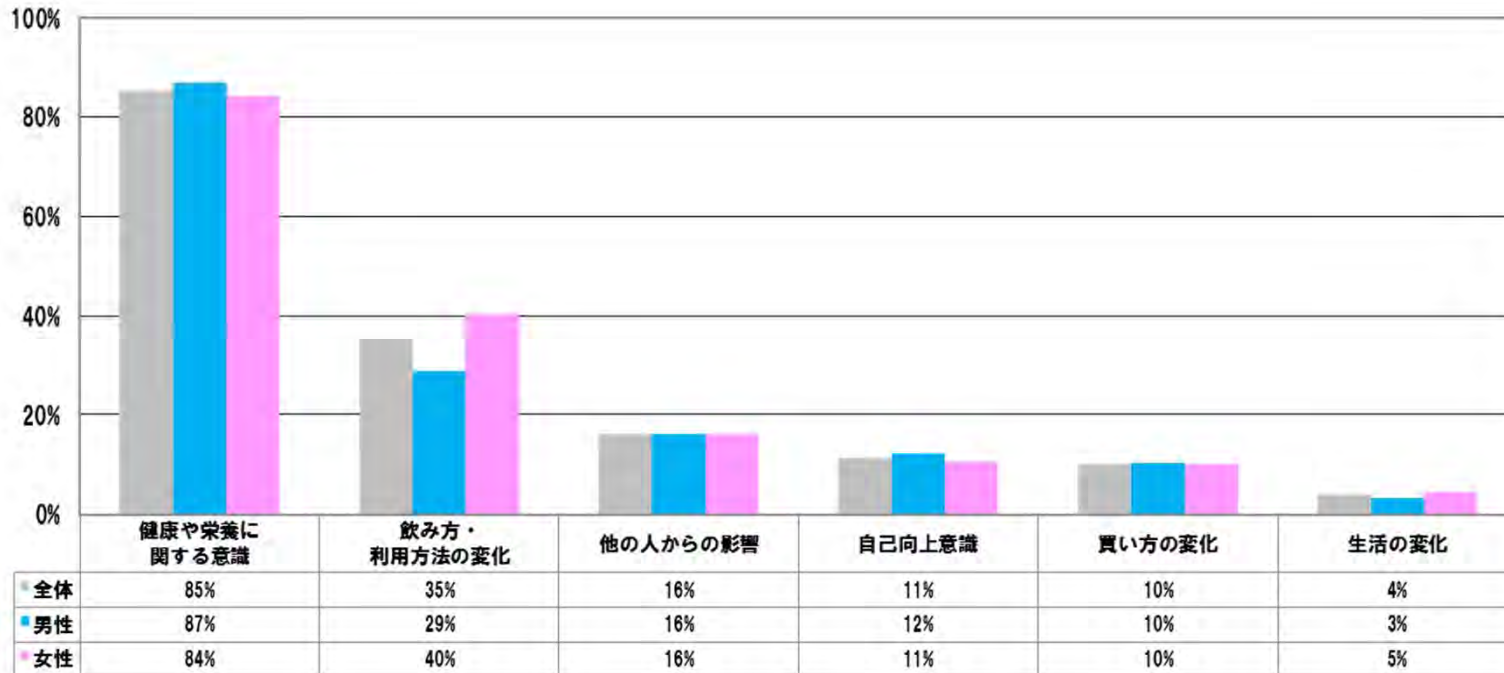
牛乳飲用頻度は、年齢の低い世代ほど、低下する傾向。

低下する傾向は、特に10代女性が顕著。

10代男性は、増加する比率も高く、飲む層と飲まなくなる層の二極化が顕著。

(全世代／3-1) 牛乳飲用頻度の上昇理由

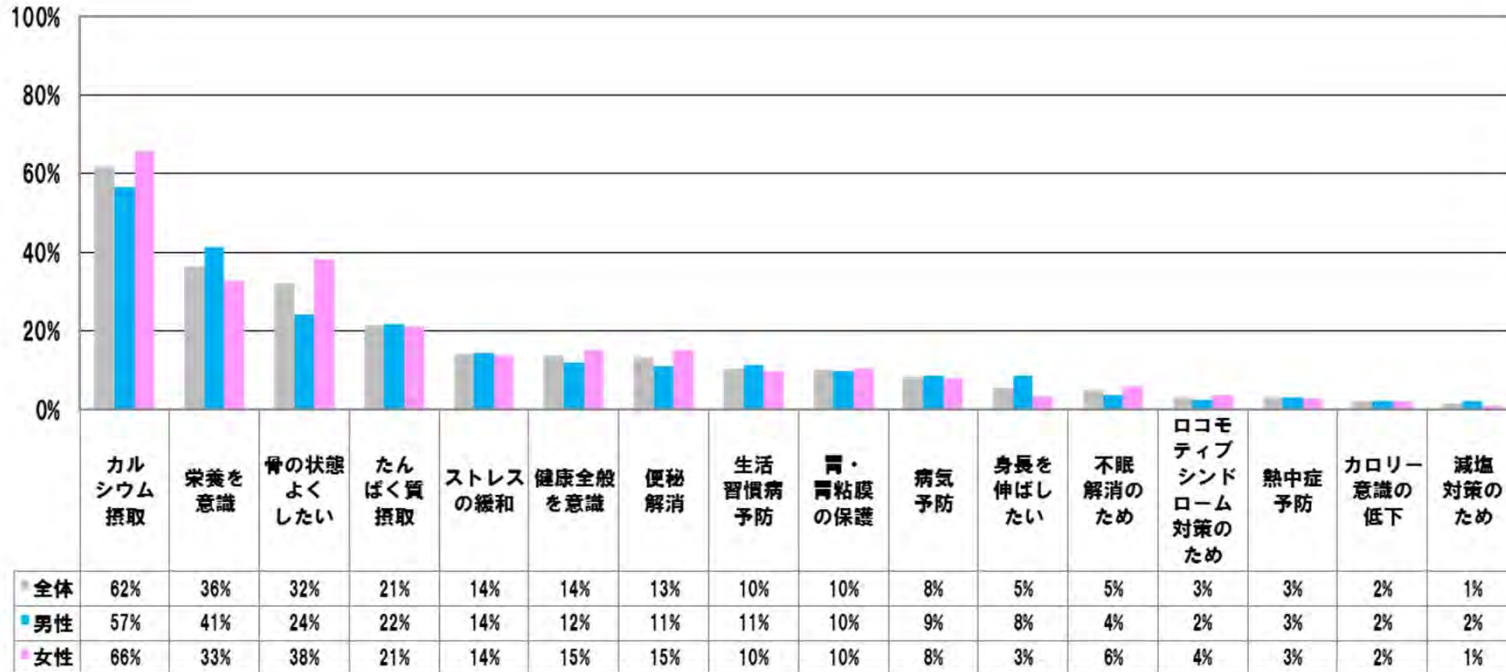
最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在増えているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N=1480/ 639/ 841

**牛乳飲用頻度の増加理由は「健康や栄養に関する意識」の強まりによる場合が多い。
女性の増加理由には「飲み方・利用方法の変化」もある。**

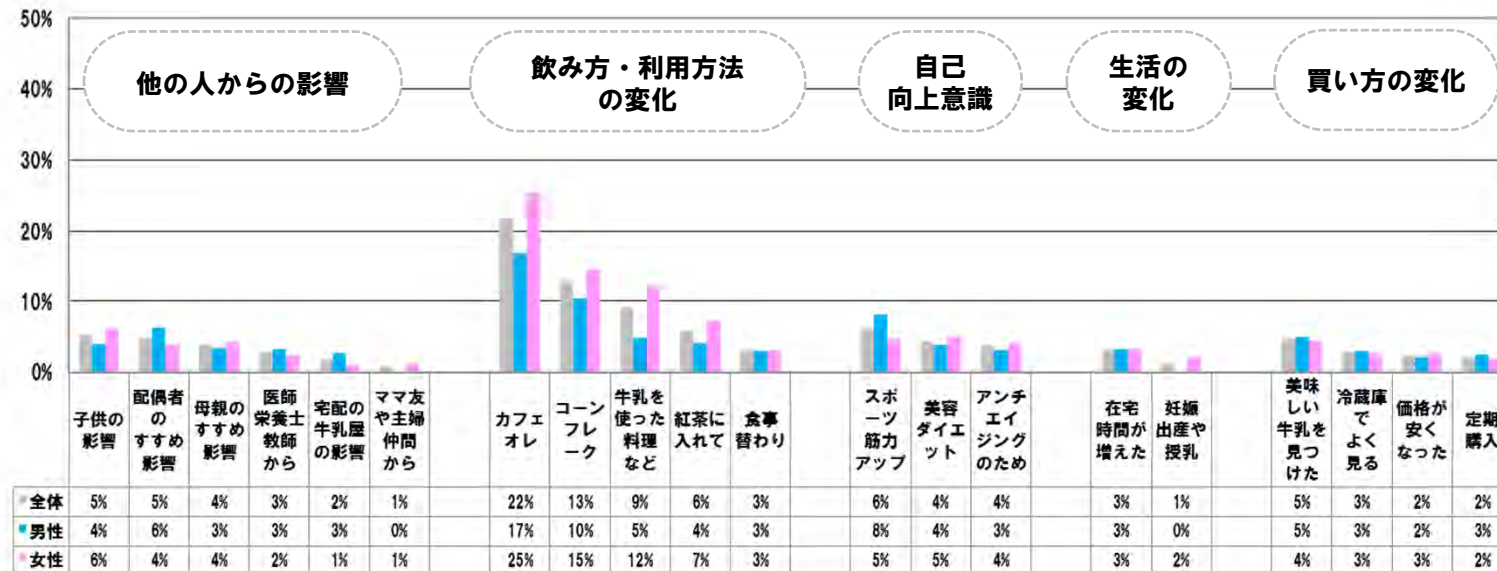
最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在増えているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N=1480/ 639/ 841

**牛乳飲用頻度の上昇理由として多くあがっている
「健康や栄養に関する意識」の内容を見ると、
「カルシウム摂取／栄養を意識／骨の状態をよくしたい」が目立つ。
中でも、女性は、カルシウムや骨への意識が顕著。**

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在増えているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N=1480/ 639/ 841

「健康や栄養に関する意識」以外の上昇理由の内容を見ると、
「カフェオレ／コーンフレーク／牛乳を使った料理」などの
比率が高く、特に、女性において顕著である。

(全世代／ 3-2) 牛乳類の購入場所(飲用増加者の特徴)

あなたが牛乳類を購入する際に、この一ヶ月で利用したことがある購入場所をお知らせください。
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。

	スーパー マーケット	コンビニ エンス ストア	ドラッグ ストア	生協 (共同購入・ 個配)	生協 (お店で)	牛乳 販売店	ディス カウ ント ストア	ネット スーパー	一般 販売店	その他の 店舗
全体	88.0%	13.4%	11.0%	7.2%	4.5%	4.3%	3.9%	3.4%	1.1%	0.9%
今現在、牛乳の 飲用(利用)頻度が 増加している人	87.0%	20.2%	13.0%	7.1%	5.3%	6.0%	5.2%	6.7%	2.3%	1.1%

N=7621
N=1426

あなたが牛乳類を購入する際に、最もよく利用する購入場所をお知らせください。
以下のなかから、あなたに最もあてはまるものをひとつだけお答えください。

	スーパー マーケット	生協 (共同購入・ 個配)	ドラッグ ストア	コンビニ エンス ストア	牛乳 販売店	生協 (お店で)	ディス カウ ント ストア	ネット スーパー	その他の 店舗	一般 販売店
全体	78.6%	5.2%	4.3%	3.7%	2.9%	1.9%	1.3%	1.2%	0.6%	0.3%
今現在、牛乳の 飲用(利用)頻度が 増加している人	76.2%	4.4%	4.3%	5.3%	3.3%	2.0%	1.2%	2.4%	0.6%	0.3%

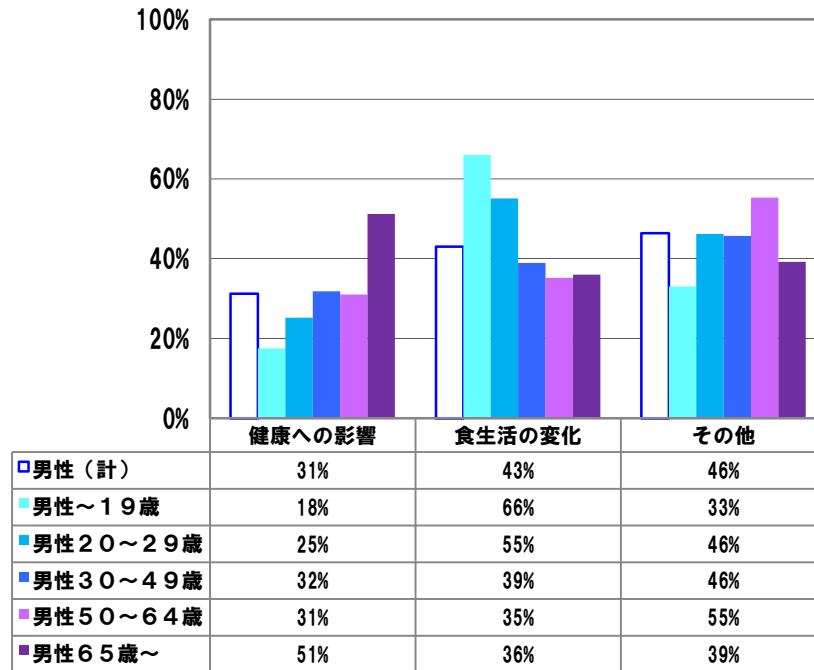
N=7621
N=1426

継続
新知見

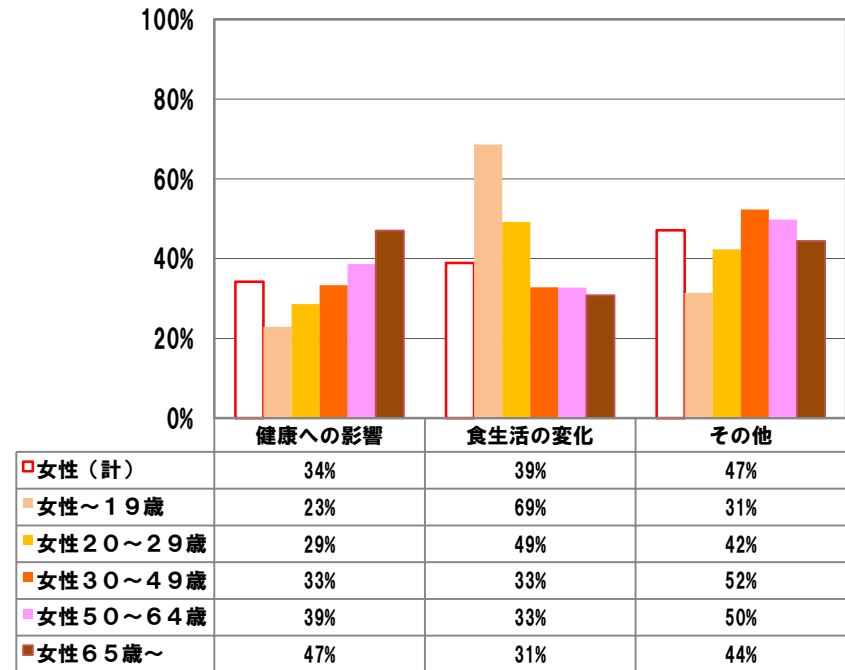
**牛乳類飲用(利用)頻度が増加している人は、
コンビニエンスストアでの牛乳購入が多い。**

(全世代／3-3) 牛乳頻度の低下理由

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在減っているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N=1221/ 97/ 234/ 481/ 284/ 125

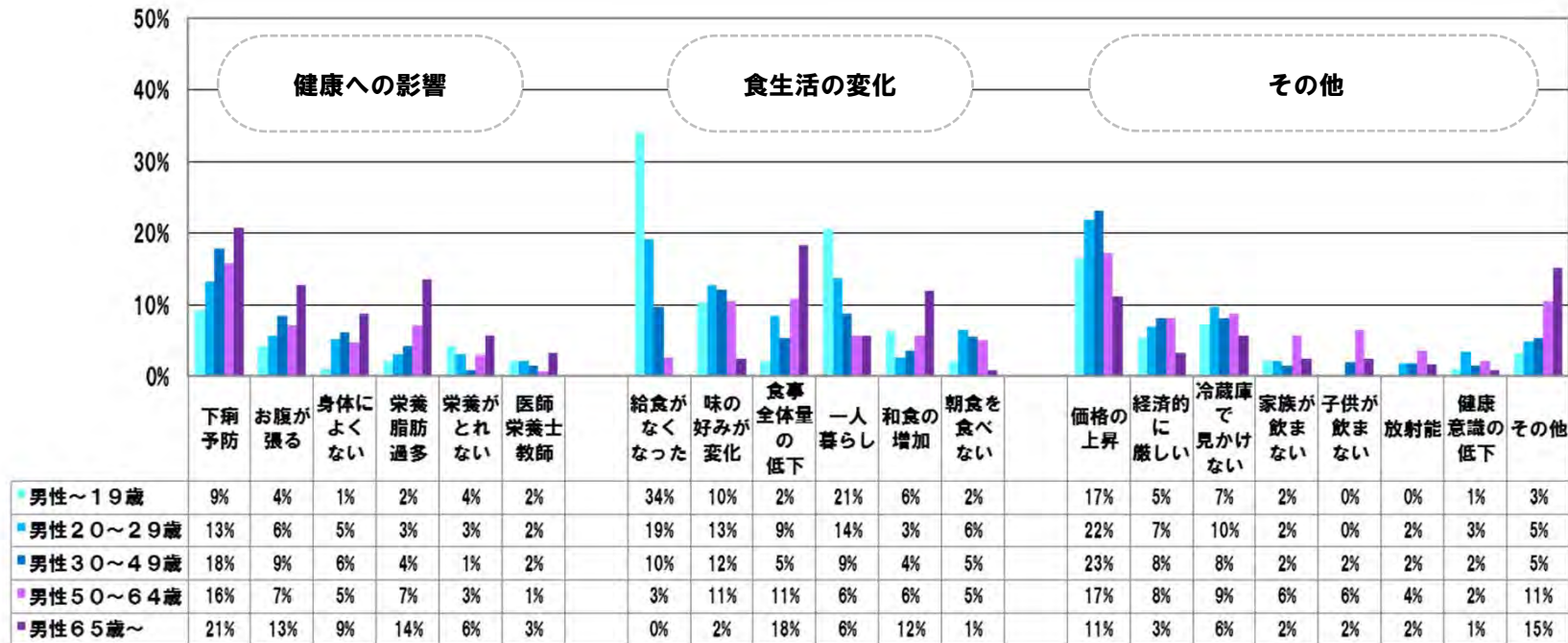


N=1157/ 118/ 189/ 430/ 303/ 117

**牛乳飲用頻度の低下理由は、男女ともに
年齢の高い層ほど「健康への影響」が多くなり、
年齢の低い層ほど「食生活の変化」が多くなる。**

(全世代／3-3・詳細1) 牛乳飲用頻度の低下理由(各項目の内訳／男性のみ)

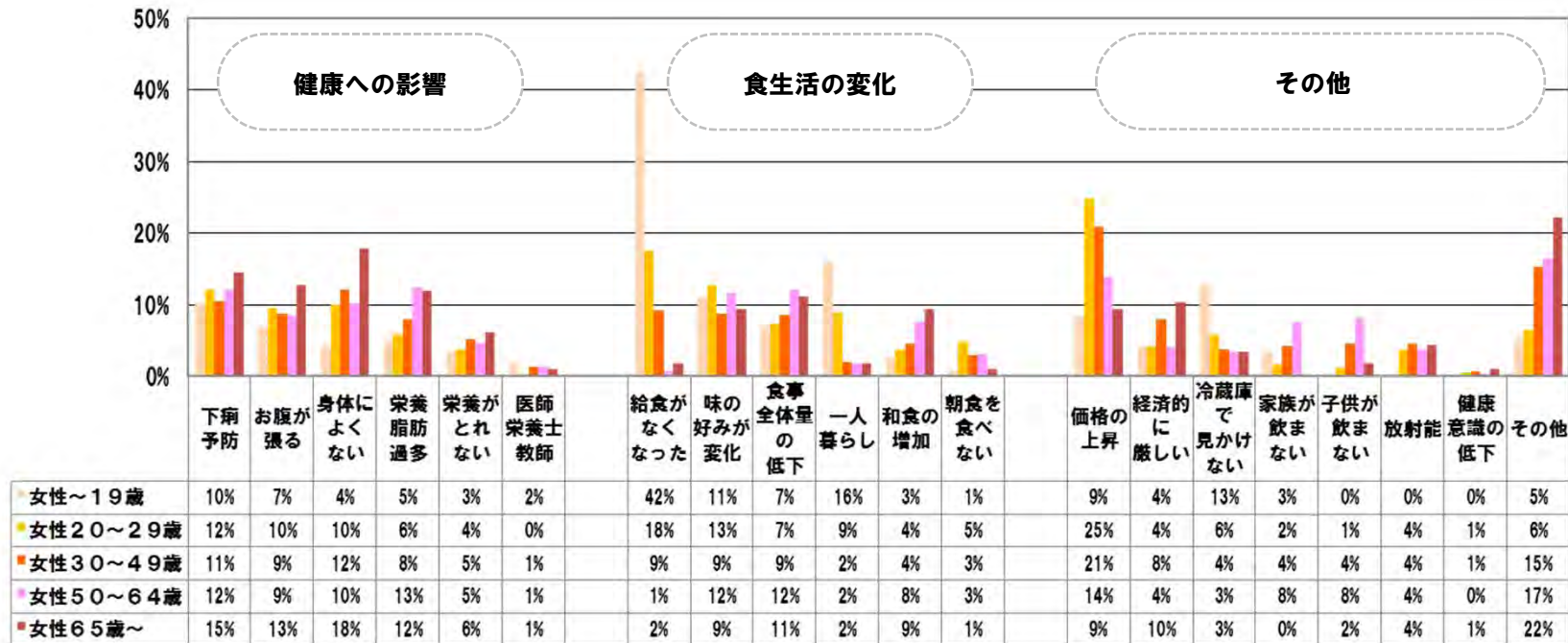
最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在減っているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N= 1221/ 97/ 234/ 481/ 284/ 125

**男性における、牛乳飲用頻度の低下理由の細かい内容を見ると、
年齢の高い層では「下痢予防／食事量の低下／栄養過多」が、
年齢の低い層は「給食がなくなった／一人暮らし／価格上昇」が目立つ。**

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在減っているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



N=1157/ 118/ 189/ 430/ 303/ 117

**女性における、牛乳飲用頻度の低下理由の細かい内容を見ると、
年齢の高い層は「身体によくない」が、
年齢の低い層は「給食がなくなった／価格の上昇」が目立つ。**

(全世代／3-3・詳細3) 牛乳飲用量の減少理由・詳細のランキング

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、
今現在減っているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。



	1位	2位	3位
	価格の上昇	下痢予防	給食がなくなった
全体	18.5%	13.9%	10.9%

N=2378(減少者のみ)

男性・年代別1~3位

15~19歳	1位	2位	3位
	給食がなくなった	一人暮らし	価格の上昇
	34.0%	20.6%	16.5%

20~29歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	給食がなくなった	一人暮らし
	21.8%	19.2%	13.7%

30~49歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	下痢予防	味の好みの変化
	23.1%	17.9%	12.1%

50~64歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	下痢予防	食事全体量の低下
	17.3%	15.8%	10.9%

65~79歳	1位	2位	3位
	下痢予防	食事全体量の低下	栄養脂肪過多
	20.8%	18.4%	13.6%

男性N=97/ 234/ 481/ 284/ 125(減少者のみ)

女性・年代別1~3位

15~19歳	1位	2位	3位
	給食がなくなった	一人暮らし	冷蔵庫で見かけない
	42.4%	16.1%	12.7%

20~29歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	給食がなくなった	味の好みの変化
	24.9%	17.5%	12.7%

30~49歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	身体によくない	下痢予防
	20.9%	12.1%	10.5%

50~64歳	1位	2位	3位
	価格の上昇	栄養脂肪過多	下痢予防
	13.9%	12.5%	12.2%

65~79歳	1位	2位	3位
	身体によくない	下痢予防	お腹が張る
	17.9%	14.5%	12.8%

女性N=118/ 189/ 430/ 303/ 117(減少者のみ)

牛乳の飲用（利用）頻度の減少理由のランキングを見ると、
10代の男女は「給食がなくなった」が、
20代、30~40代、50-64歳の男女は「価格の上昇」が、
65-79歳だと、男性は「下痢予防」女性は「身体によくない」が1位になっている。

今現在のあなたが牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている食品や飲み物は何ですか。
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。

継続
新発見

	1位	2位	3位	4位	5位
	ヨーグルト	豆乳	緑茶	野菜/ トマト ジュース	コーヒー (牛乳なし)
全体	29.3%	24.2%	20.7%	16.8%	16.3%

N=822(減少者・代替ありのみ)

男性 年代別 1位	15~19歳	20~29歳	30~49歳	50~64歳	65~79歳
	麦茶	緑茶	緑茶	野菜/ トマト ジュース	ヨーグルト
男性	28.0%	25.5%	26.8%	24.3%	37.5%

N= 25 /55/ 127/ 103/ 48(減少者・代替ありのみ)

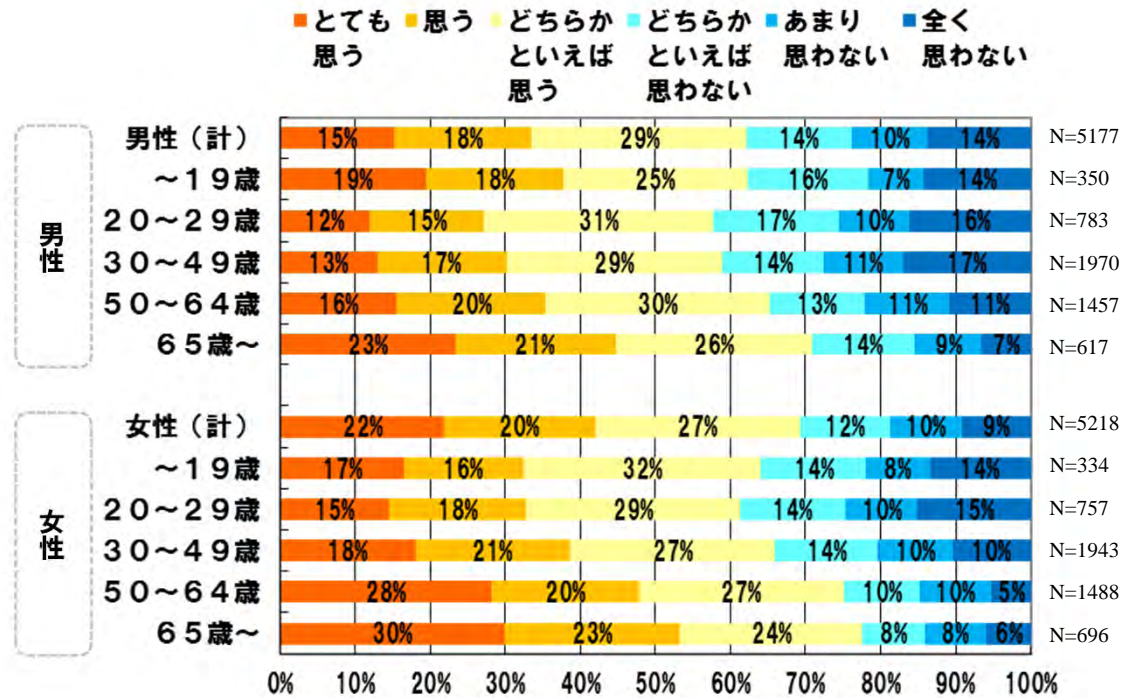
女性 年代別 1位	15~19歳	20~29歳	30~49歳	50~64歳	65~79歳
	緑茶	豆乳	豆乳	ヨーグルト	ヨーグルト
女性	36.4%	39.0%	37.8%	37.1%	56.9%

N= 33 / 59/ 156/ 151/ 65(減少者・代替ありのみ)

**牛乳類飲用（利用）頻度が減少している人は、
ヨーグルトの利用が最も増加している。
(ただし、性年代別にみると1位の顔ぶれは異なる。)**

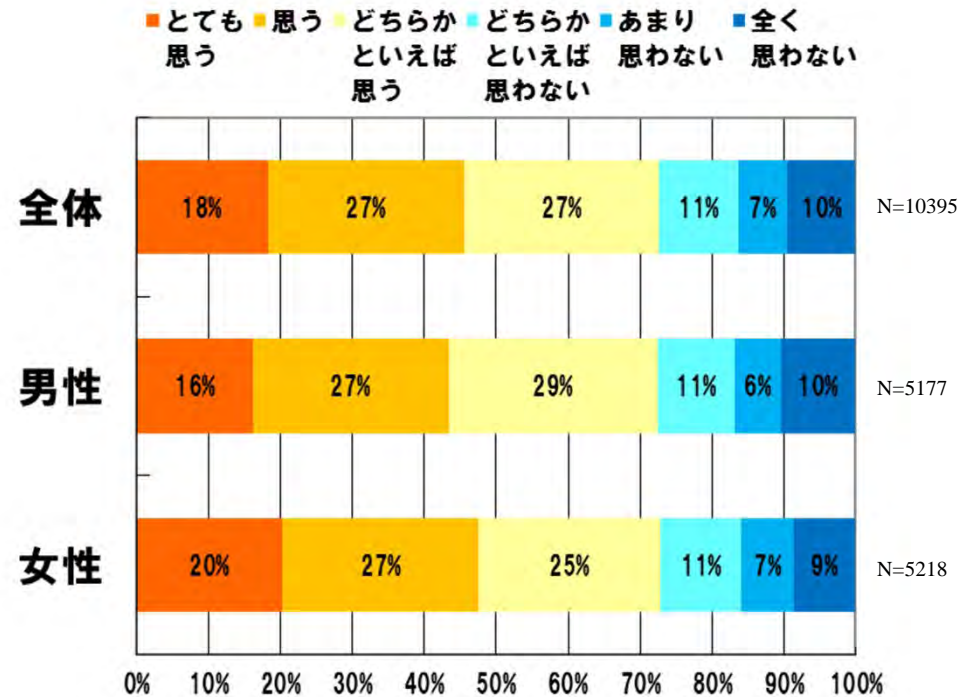
(全世代／4) 牛乳を大切に思う気持ち

あなたは「牛乳」のことを、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。



「牛乳を大切に思う気持ち」は、男女別では、女性の方が高い。
 なお、男女ともに、年齢の高い世代ほど、「牛乳を大切に思う気持ち」は強い。
 ただし、男性にあっては、10代においても「牛乳を大切に思う気持ち」が強い。

あなたご自身は「牛乳」のことを、どれくらい美味しいと思いますか。



「牛乳を美味しく思う気持ち」は、男女とも、約7割と高い。
(なお、この傾向は、年代によっても大きく変わらない。)

普段、購入して自分で飲んだり家族に飲ませる「牛乳」について、あなたは、「外国産より価格が高くても、国産を優先したい」と、どれくらい思いますか。以下のなかから、あなたに最もあてはまるものをひとつだけお答えください。

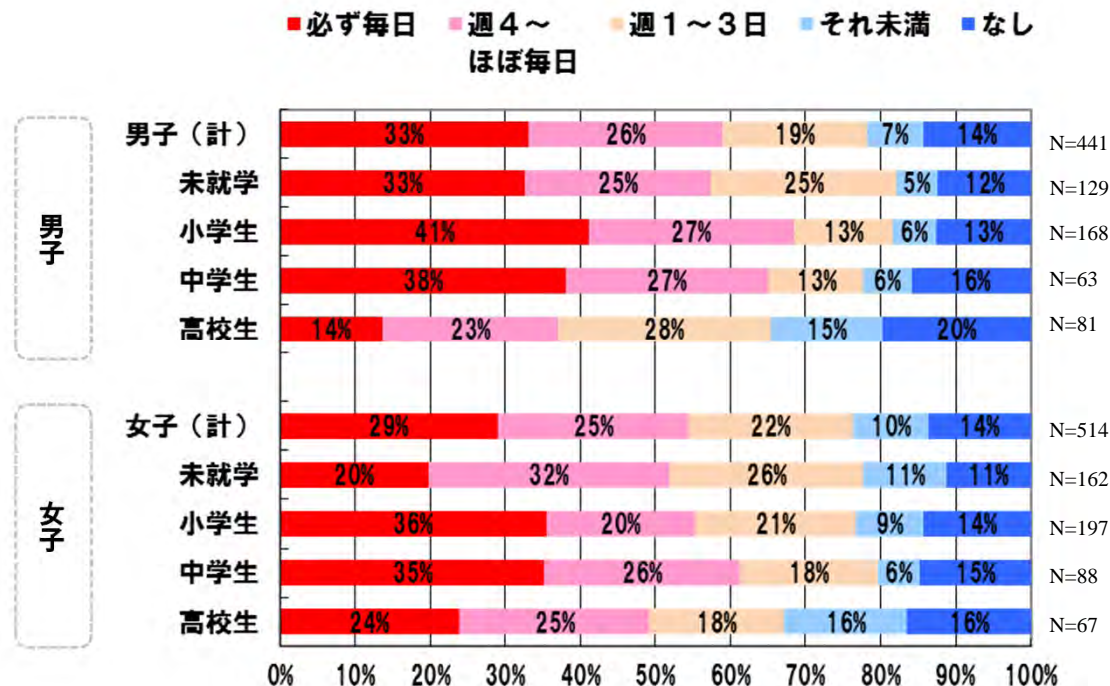
全体		男性		女性	
	国産優先意識あり		国産優先意識あり		国産優先意識あり
全体	81.7%	男性(計)	76.8%	女性(計)	86.6%
	N=10395	15～19歳	75.7%	15～19歳	76.9%
		20～29歳	68.6%	20～29歳	77.6%
		30～49歳	75.6%	30～49歳	86.9%
		50～64歳	80.0%	50～64歳	90.4%
		65～79歳	84.6%	65～79歳	91.6%

牛乳について「外国産より価格が高くても、国産を優先したい」と思う人は全体の8割を超えている（特に50歳以上でその意識は強い）。

(母と子／1) 子どもの牛乳飲用頻度(学乳外)

現在同居している3～18歳のお子様は、
いま現在、学校給食を除いて、牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



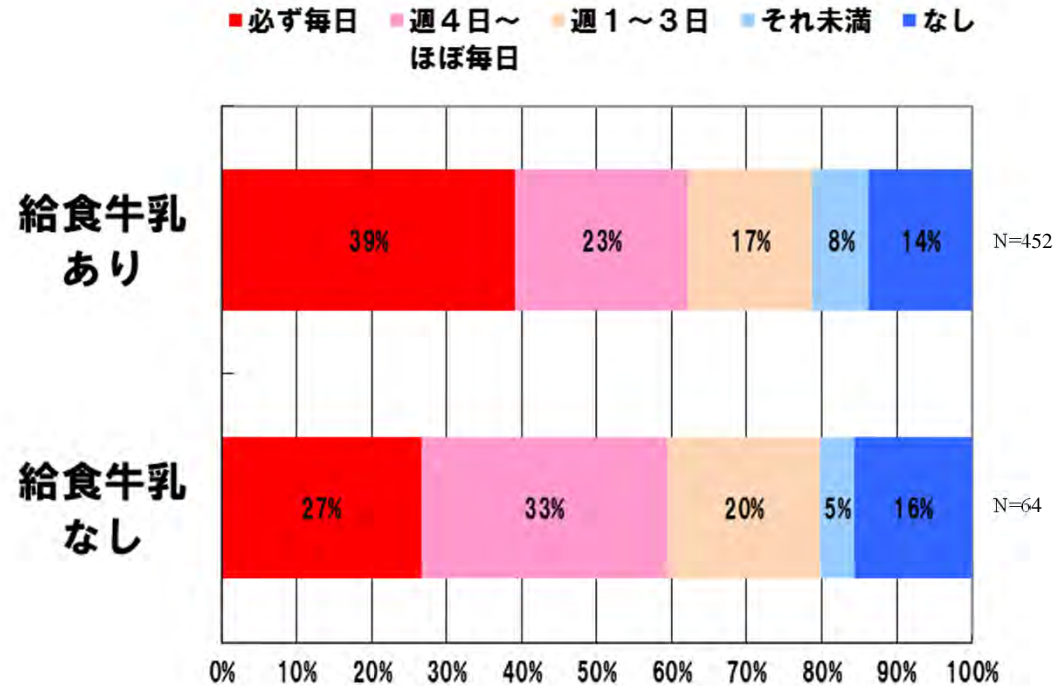
新調査
新知見

3～18歳の子どもの、家庭での牛乳飲用頻度は、「週4日以上」が5割超。
 なお、特に小学生・中学生で高く、男女を比較すると男子が高い。
 高校生になると低下するが、男女を比較すると「毎日飲む」で女子が高い。

現在同居している3～18歳のお子様は、
いま現在、学校給食を除いて、牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

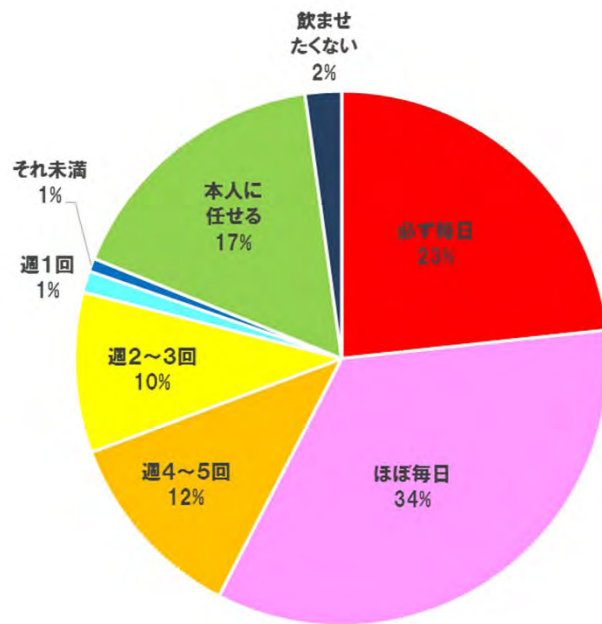
(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

新調査
新知見

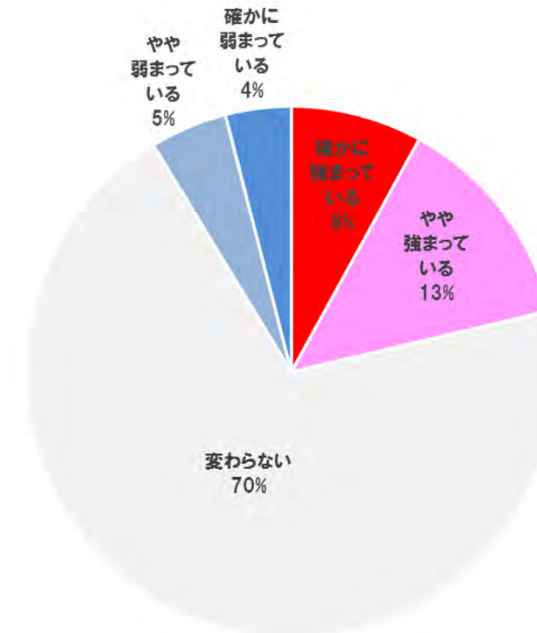


学乳を飲んでいる子ども(小学生・中学生)と飲んでいない子どもの
家庭での牛乳飲用頻度を比較すると
学乳を飲んでいない子どもの方が、「必ず毎日」飲んでいる比率が低い。

いま現在、あなたは「牛乳」を自分のお子様に、
どれくらい飲んでもらいたいと思いますか。



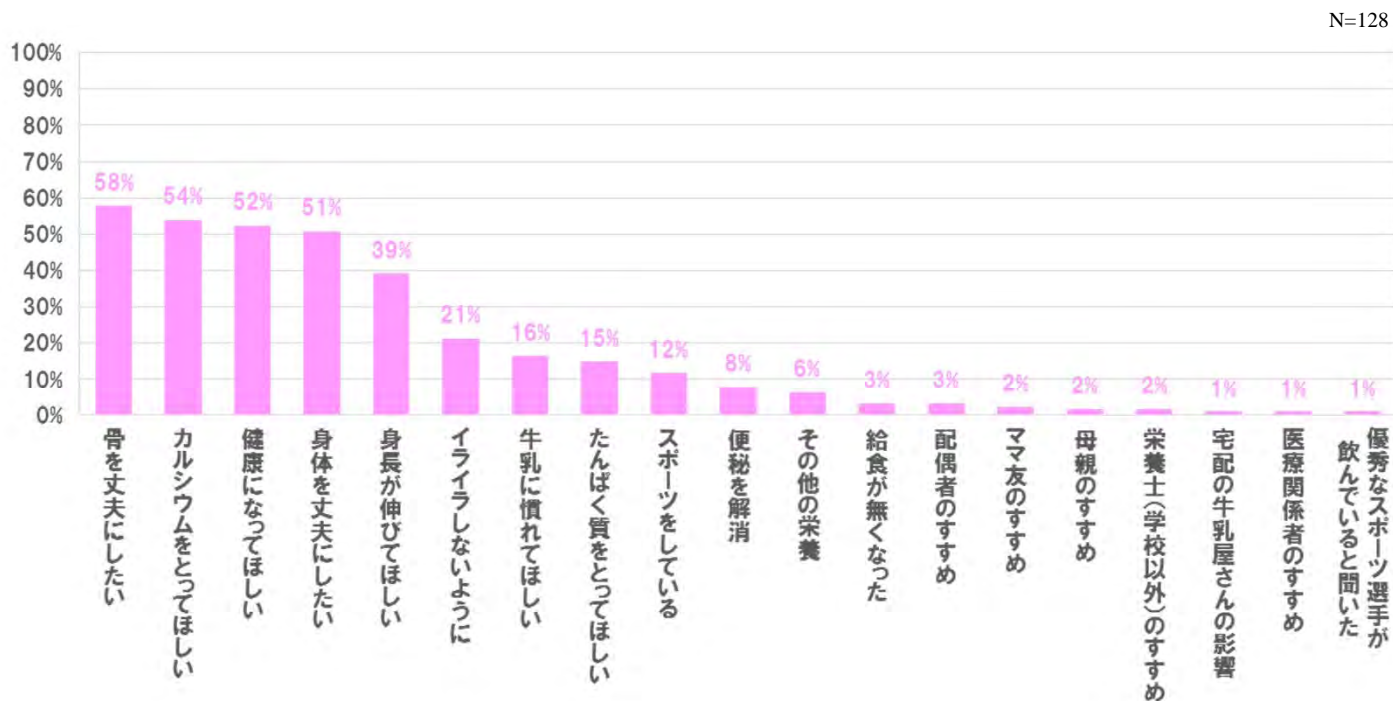
最近のあなたが、「牛乳」を
自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ち
は、
以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。



N=600

**母親が3~18歳の子どもに望む牛乳飲用頻度は
「必ず毎日」「ほぼ毎日」が6割弱を占める。
また、母親の、「子どもに牛乳を飲んでもらいたい気持ち」は
「強まっている」が約2割、「弱まっている」が約1割である。**

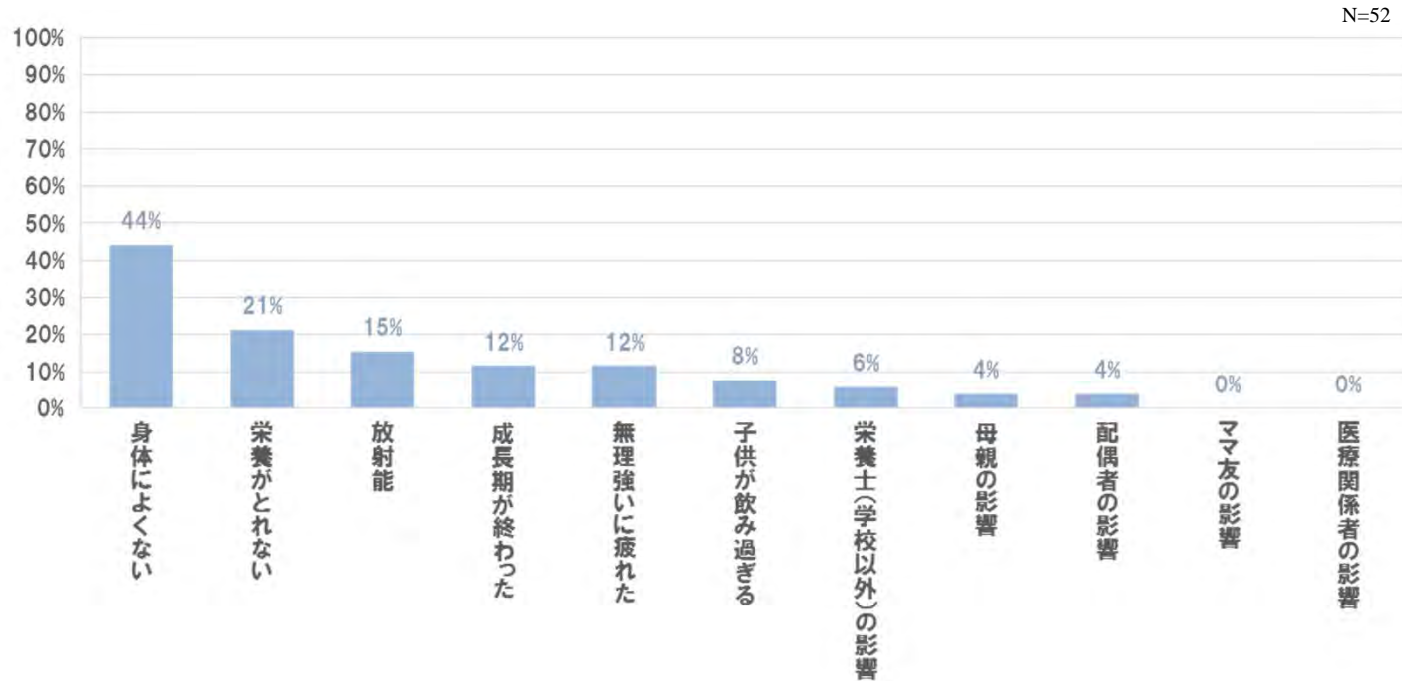
あなたの、「牛乳」を自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。



母親の、子どもに「牛乳を飲んでもらいたい気持ち」が強まっている理由は、「骨を丈夫にしたい」「カルシウムをとってほしい」「健康になってほしい」「身体を丈夫にしたい」「身長が伸びてほしい」といったものが目立つ。

(母と子／4) 牛乳を飲んでもらいたい気持ちが弱まった理由

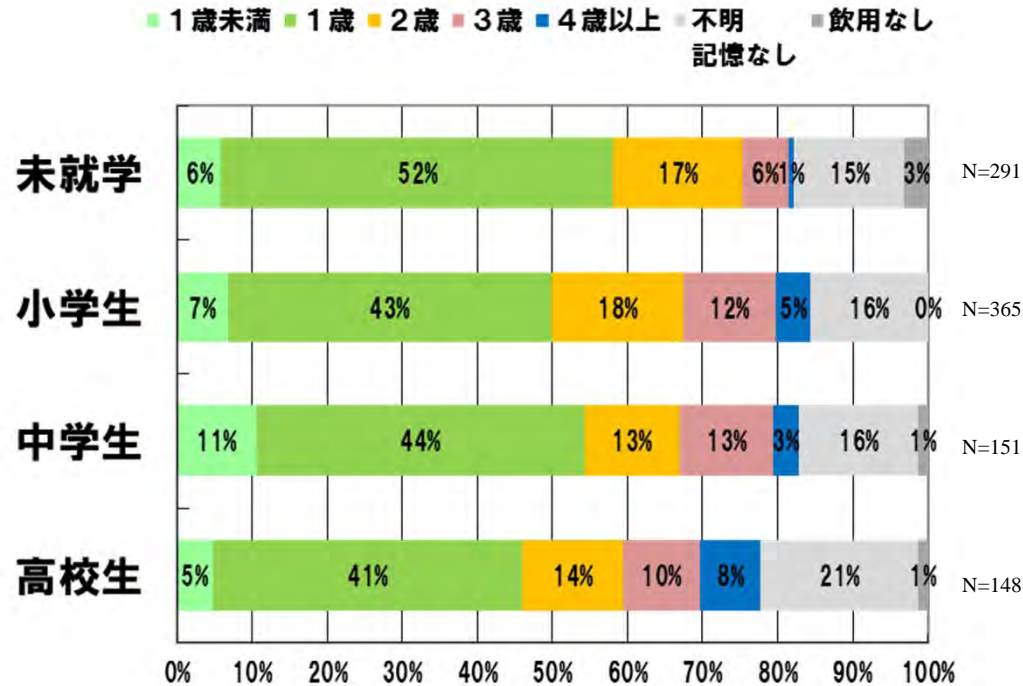
あなたの、「牛乳」を自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ちが、以前に比べて弱まっているのはどんな理由や事情からですか。



母親の、子どもに「牛乳を飲んでもらいたい気持ち」が弱まっている理由は、「身体によくない」という認識が目立つ。

(母と子／5) 子供が牛乳を初めて飲んだ年齢

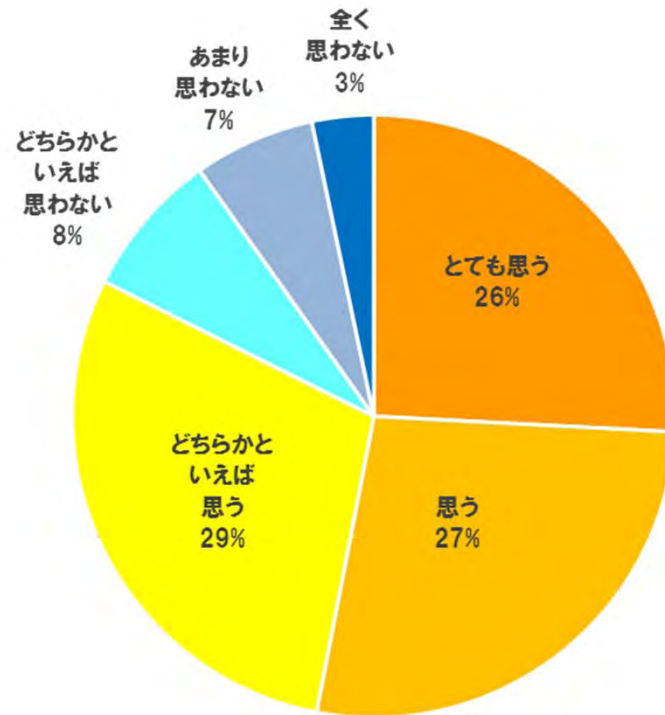
現在同居している3～18歳のお子様はじめて牛乳を飲んだのは、お子様がいくつくらいの時でしたか。



新調査
新知見

子どもが最初に牛乳を飲み始めた時期は「1歳」が多く、ほとんどの子どもが「3歳」までには飲み始めている。なお傾向としては、飲み始める年齢が僅かに早くなっている。

あなたは「牛乳」のことを、「あなたの子供や家族にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。



N=600

母親の8割強が、「牛乳が子ども(家族)にとって大切」だと思っている。

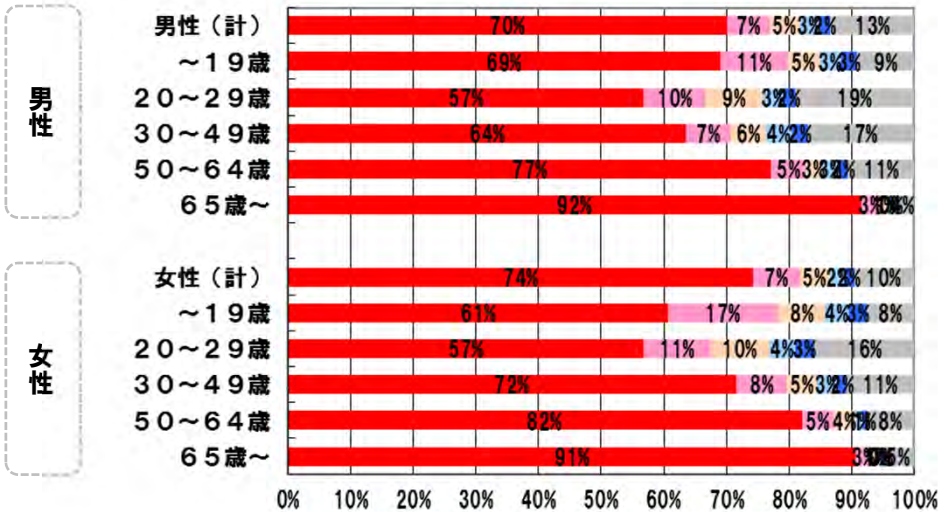
3. 食生活や健康に関する行動や意識の基本動向

新調査
新知見

普段のあなたは、朝ごはん昼ごはん晩ごはんの3食と間食(※)のそれぞれを、1週間のうちで何日程度食べていますか。 ※ 間食とは、例えば「夜食」のように、朝ごはん昼ごはん晩ごはん以外のタイミングで、何らかの食事やおやつをとることを指します。

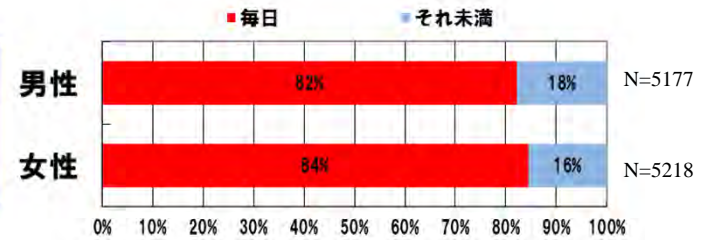
朝ごはん

■毎日 ■週5~6日 ■週3~4日 ■週2日 ■週1日 ■それ未満なし

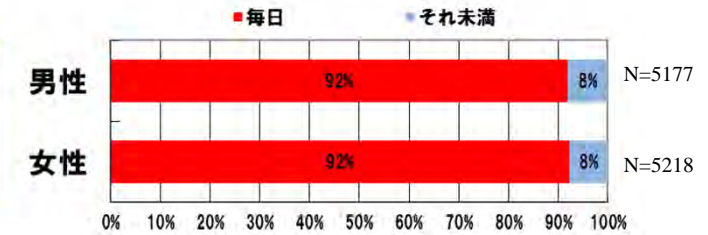


男性 N=5177/ 350/ 783/ 1970/ 1457/ 617
女性 N=5218/ 334/ 757/ 1943/ 1488/ 696

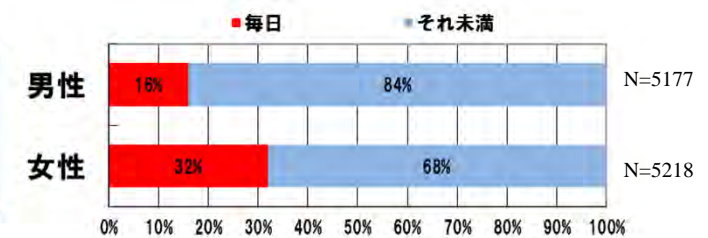
昼ごはん



晩ごはん



間食



朝ごはんを「毎日食べている」は全体で約7割で、年齢の高い層ほど比率が高い傾向。
昼ごはん・晩ごはんを「毎日食べている」は、約8割、約9割で年代による差はない。
朝ごはん、昼ごはん、晩ごはんの食事頻度においては、男女の差はない。
なお、間食を「毎日食べている」は2割強で、女性の方が比率が高い。

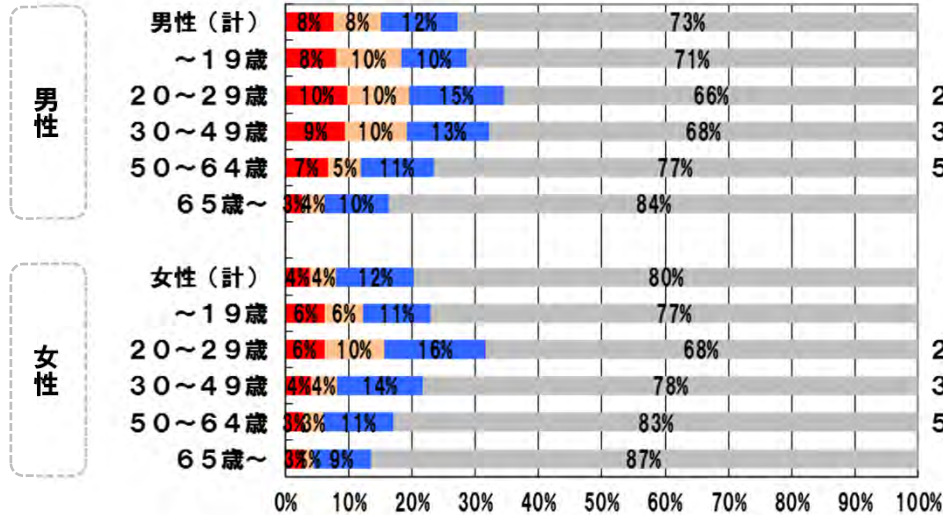
新調査
新知見

普段のあなたは「朝ごはん」において、以下にあげたタイプの食事を、どれくらいしていますか。

外食

※ 外食とは自宅の外でとる食事全般を指します。例えば飲食店で
の食事や、職場で市販のお弁当を買って食べたり、職場で出前を
とる場合なども外食とします。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし

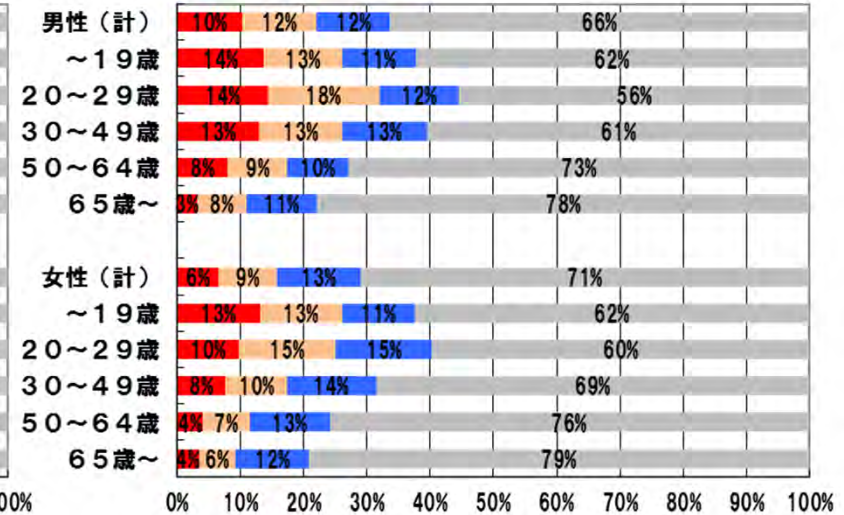


男性 N=3980/ 279/ 522/ 1393/ 1202/ 584
女性 N=4263/ 261/ 510/ 1547/ 1296/ 649

中食

※ 中食とは、自宅の外で購入したお惣菜やお弁当を自宅におい
て食べたり、自宅を出前をとって食事する場合を指します。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし



男性 N=3980/ 279/ 522/ 1393/ 1202/ 584
女性 N=4263/ 261/ 510/ 1547/ 1296/ 649

朝ごはんを外食・中食でとる頻度は、男女ともほぼ頭程度で、年齢の低い層ほど高い。
なお、外食は男性が高い傾向。中食はほぼ同様の傾向。

普段のあなたは「朝ごはん」において、以下にあげたタイプの食事を、どれくらいしていますか。

新調査
新知見

内食

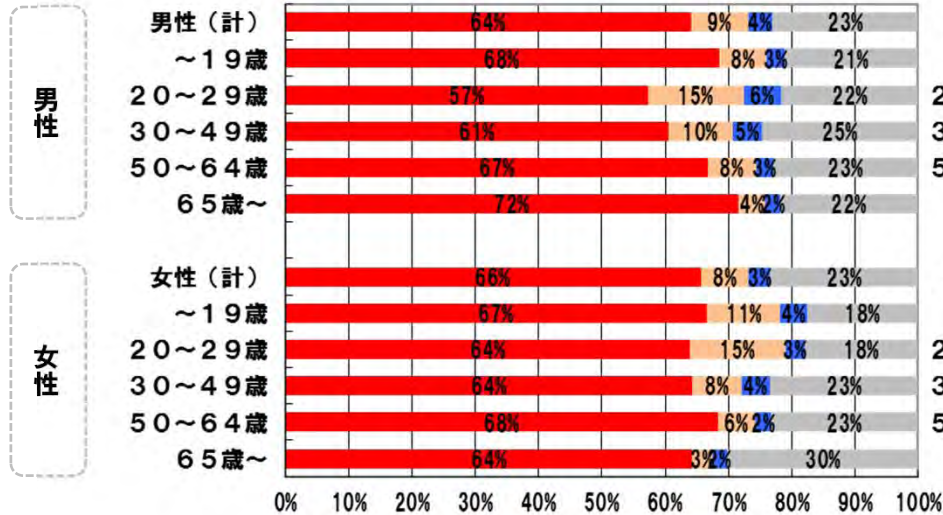
※ 内食とは、自宅での朝ごはん昼ごはん晩ごはん、自宅で調理したものを食べることを指します。

自家製のお弁当を外で

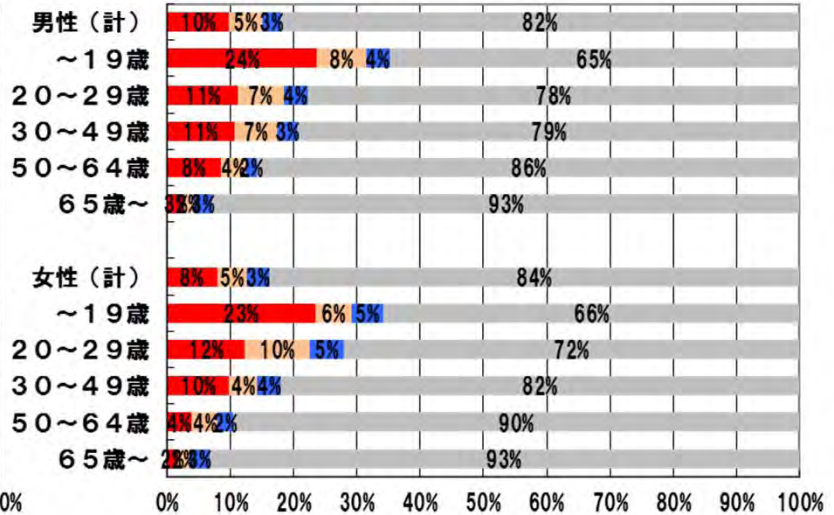
※ 「自家製のお弁当を外で」は、自宅で調理したお弁当を自宅の外(職場など)において食べる場合を指します。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし



男性 N=3980/ 279/ 522/ 1393/ 1202/ 584
女性 N=4263/ 261/ 510/ 1547/ 1296/ 649



男性 N=3980/ 279/ 522/ 1393/ 1202/ 584
女性 N=4263/ 261/ 510/ 1547/ 1296/ 649

朝ごはんを内食(家庭)でとる頻度は、全体として年齢の高い層が高い傾向。
朝ごはんを弁当でとる頻度は、年齢の低い層ほど高い。
男女ともに同様の傾向。

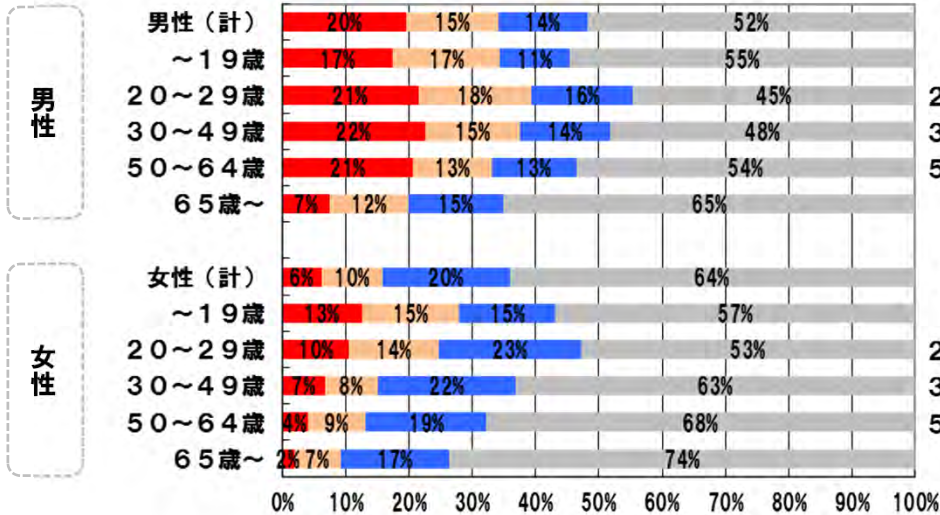
新調査
新知見

普段のあなたは「朝ごはん」において、以下にあげたタイプの食事を、どれくらいしていますか。

外食

※ 外食とは自宅の外でとる食事全般を指します。例えば飲食店で
の食事や、職場で市販のお弁当を買って食べたり、職場で出前を
とる場合なども外食とします。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし

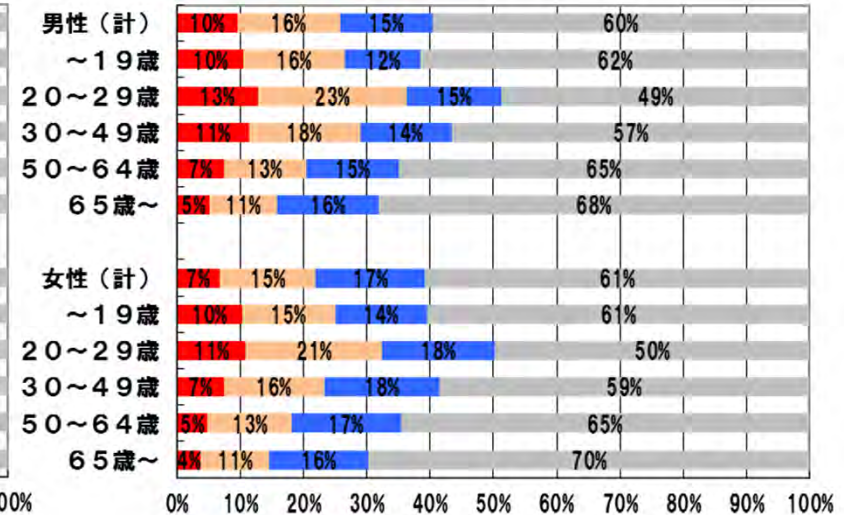


男性 N=4628/ 317/ 673/ 1721/ 1340/ 577
女性 N=4785/ 304/ 662/ 1757/ 1393/ 669

中食

※ 中食とは、自宅の外で購入したお惣菜やお弁当を自宅におい
て食べたり、自宅を出前をとって食事する場合を指します。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし



男性 N=4628/ 317/ 673/ 1721/ 1340/ 577
女性 N=4785/ 304/ 662/ 1757/ 1393/ 669

昼ごはんを外食・中食でとる頻度は、ほぼ同程度で、
また、年齢の低い層ほど高い。

なお、男女別にみると、外食は男性は高い傾向。中食はほぼ同様の傾向。

新調査
新知見

普段のあなたは「昼ごはん」において、以下にあげたタイプの食事を、どれくらいしていますか。

内食

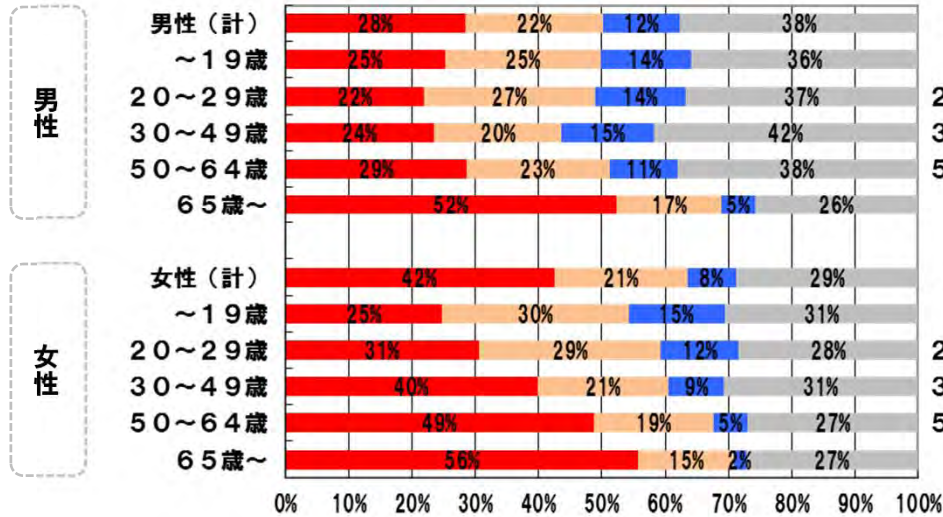
※ 内食とは、自宅での朝ごはん昼ごはん晩ごはん、自宅で調理したものを食べることを指します。

自家製のお弁当を外で

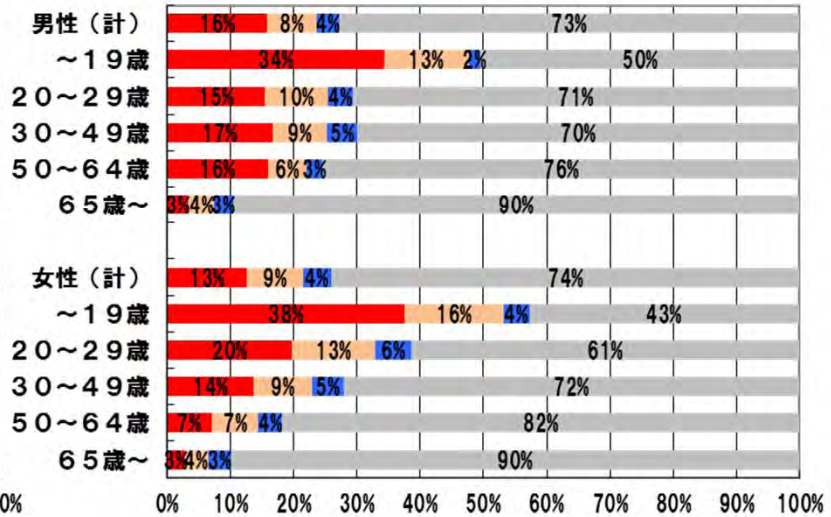
※ 「自家製のお弁当を外で」は、自宅で調理したお弁当を自宅の外(職場など)において食べる場合を指します。

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし

■ 週5日以上 ■ 週2~4日 ■ 週1日 ■ それ未満・なし



男性 N=4628/ 317/ 673/ 1721/ 1340/ 577
女性 N=4785/ 304/ 662/ 1757/ 1393/ 669



男性 N=4628/ 317/ 673/ 1721/ 1340/ 577
女性 N=4785/ 304/ 662/ 1757/ 1393/ 669

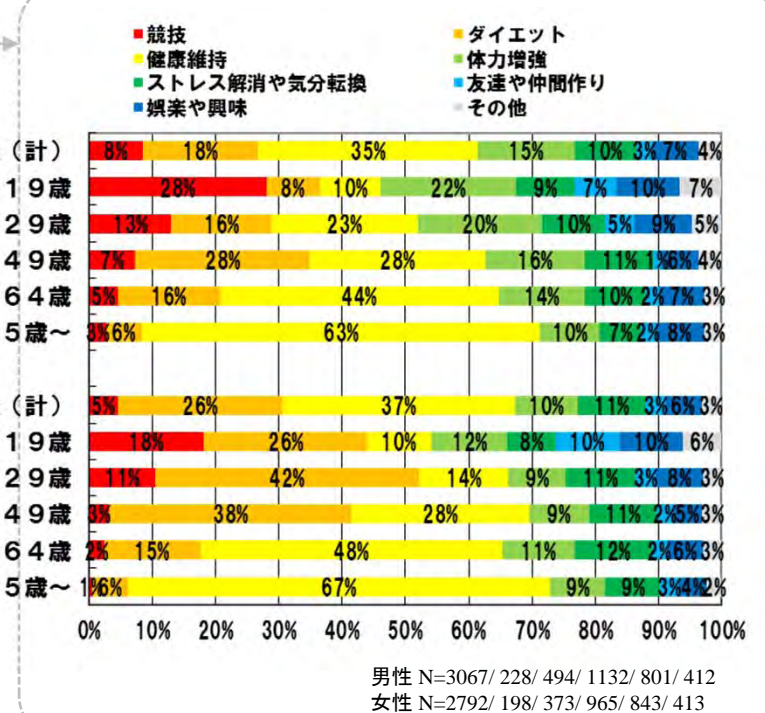
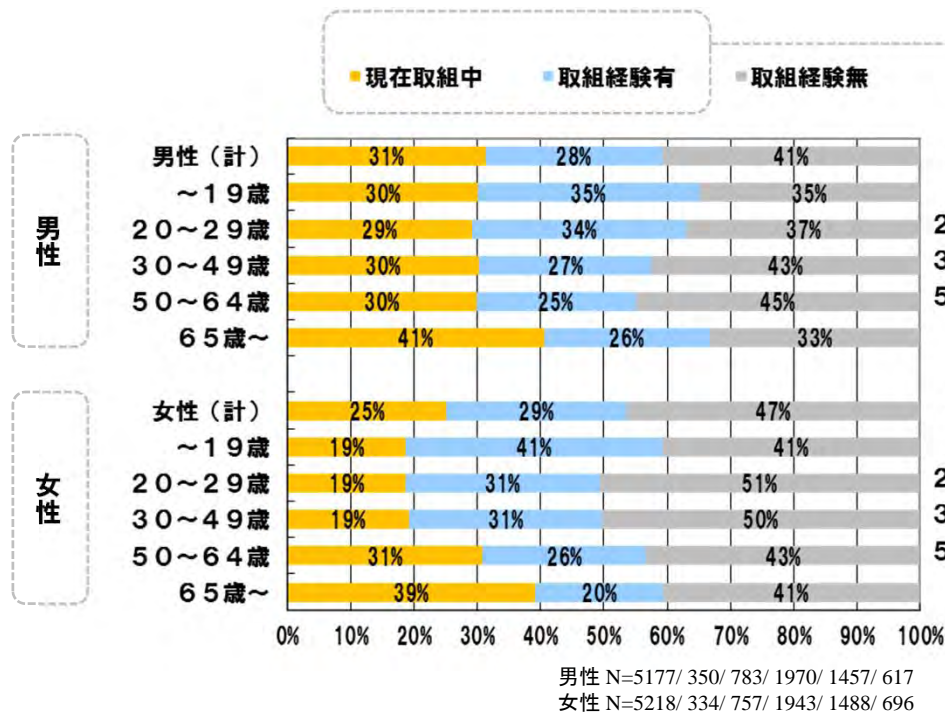
昼ごはんを内食(家庭)でとる頻度は、全体として年上の層ほど高い。
 昼ごはんを弁当でとる頻度は年下の層ほど高くなっている。
 なお、自家製弁当の比率は、女性が高い傾向。

新調査
新知見

あなたには、運動やスポーツに習慣的(※)に取り組んだ経験がありますか。

※「習慣的」とは、週2回以上、1回30分以上の運動を、1年以上継続して行うことを指します。

あなたがこれまでに、スポーツや運動へ習慣的(※)に取り組むにあたって、最も強く意識していた(している)目的をお知らせください。



習慣的な運動の取組状況は、全体として男性のほうが多くなっている。

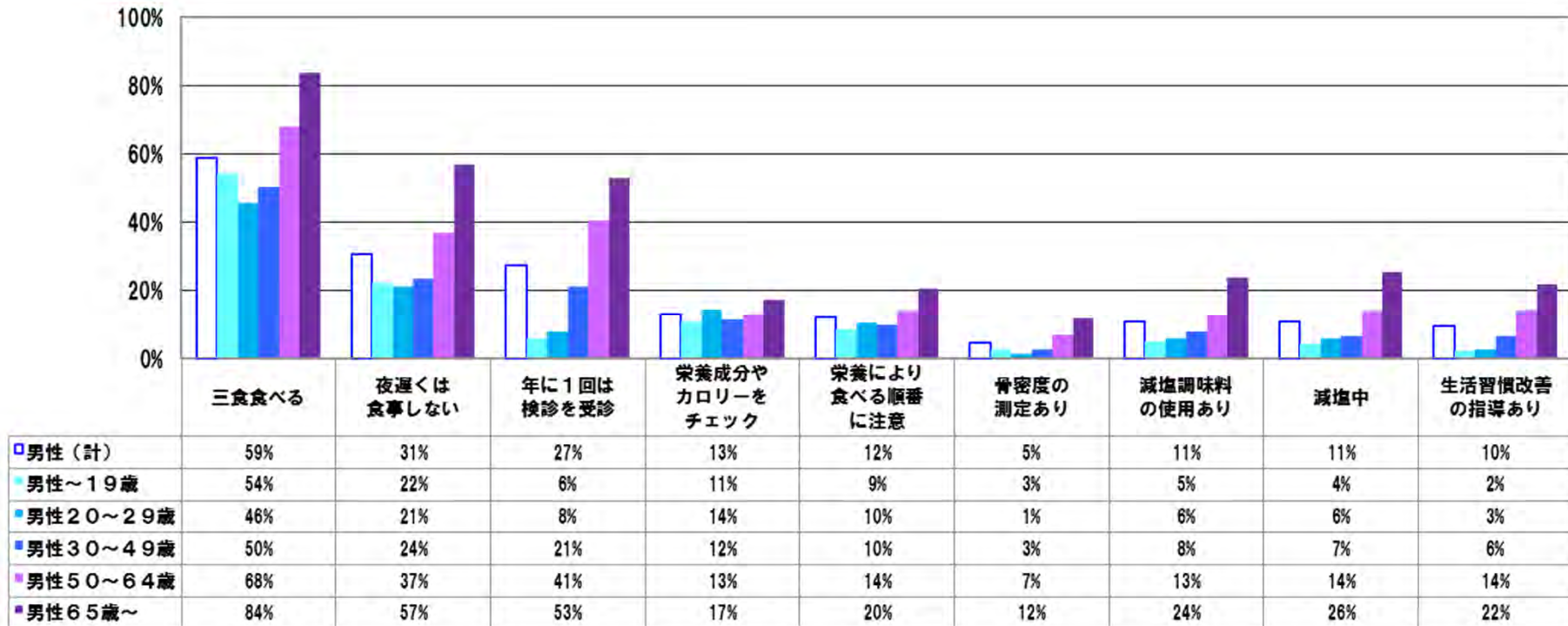
なお、男性では65歳以上、女性では50歳以上から、「現在取組中」が増える傾向。

取組の理由は年齢の高い層ほど「健康維持」が、年齢の低い層ほど「競技」が多くなっている。

また30～40代男性と10～40代女性においては、「ダイエット」も目立つ。

新調査
新発見

以下の中から、あなたに当てはまるものを全てお知らせください。

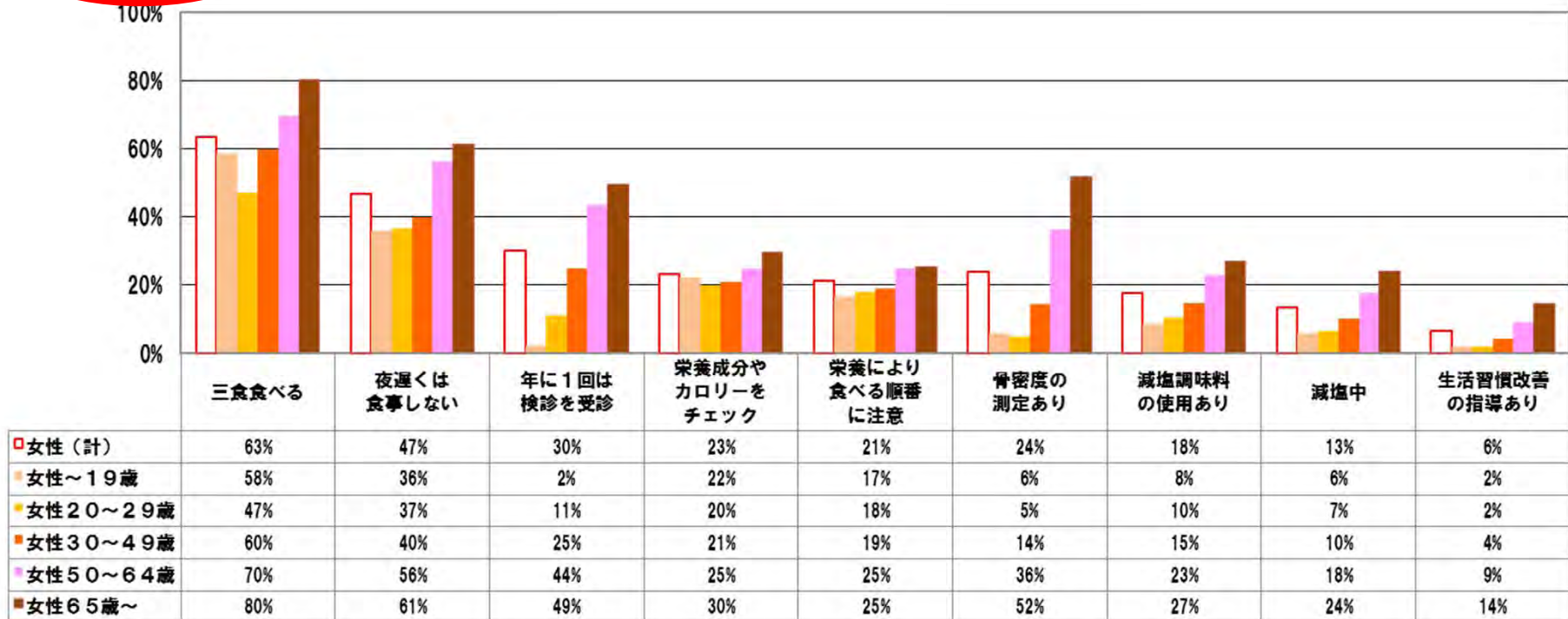


N=5177/ 350/ 783/ 1970/ 1457/ 617

男性の、健康に関する実際の行動をみると、
「三食食べる／夜遅くは食事しない／年に一度の検診」への取り組みが多く、
全ての項目において、年齢の高い層ほど多くなっている。

新調査
新知見

以下の中から、あなたに当てはまるものを全てお知らせください。

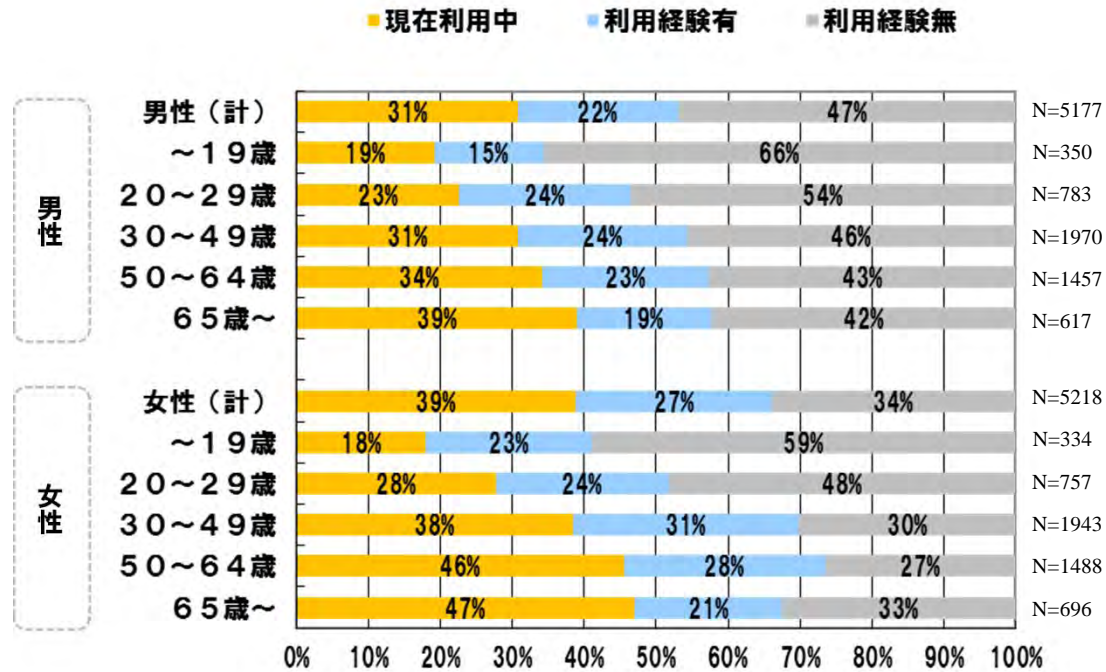


N=5218/ 334/ 757/ 1943/ 1488/ 696

女性の、健康に関する実際の行動をみると、
「三食食べる／夜遅くは食事しない／年に一度の検診／骨密度の測定」への取り組みが多く、
全ての項目において、年齢の高い層ほど多くなっている。

今現在、あなたは何らかのサプリメントや栄養補助食品を利用していますか。

新調査
新知見



サプリメント・栄養補助食品を現在利用している比率は、男性約3割、女性約4割。
男女ともに年齢が高い層ほど多くなり、特に女性の50代以上の利用が多い。

(全世代4-2) 利用されているサプリメントのランキング

今現在、あなたが利用しているサプリメントや栄養補助食品をお知らせください。
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



	1位	2位	3位
	ビタミンC	マルチ ビタミン	ブルーベリー
全体	8.6%	7.0%	6.3%

N=10395

性別・年代別1~3位	1位			2位			3位						
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位				
男性・年代別1~3位	15~19歳	ビタミンC	カルシウム	ビタミンB2	20~29歳	ビタミンC	マルチ ビタミン	ビタミンB1	30~49歳	マルチ ビタミン	ビタミンC	DHA EPA	
		8.0%	4.6%	4.3%		8.6%	4.6%	4.1%		9.2%	7.6%	4.9%	
	50~64歳	DHA EPA	ブルーベリー	マルチ ビタミン	65~79歳	ブルーベリー	マルチ ビタミン	グルコサミン	男性N=350/ 783/ 1970/ 1457/ 617				
		7.6%	7.4%	6.5%		10.2%	7.9%	7.9%					
	女性・年代別1~3位	15~19歳	ビタミンC	鉄分	ビタミンB1	20~29歳	ビタミンC	マルチ ビタミン	コラーゲン	30~49歳	ビタミンC	コラーゲン	鉄分
			6.3%	4.5%	3.6%		10.4%	6.3%	4.9%		10.7%	9.1%	7.6%
50~64歳		コラーゲン	ビタミンC	ブルーベリー	65~79歳	ブルーベリー	コラーゲン	グルコサミン	女性N=334/ 757/ 1943/ 1488/ 696				
		11.6%	10.0%	8.9%		12.4%	11.6%	11.4%					

利用されているサプリメントのトップ3は
1. ビタミンC 2. マルチビタミン 3. ブルーベリー
 (※ただし、性別・年代別でランキングの内容は異なる。)

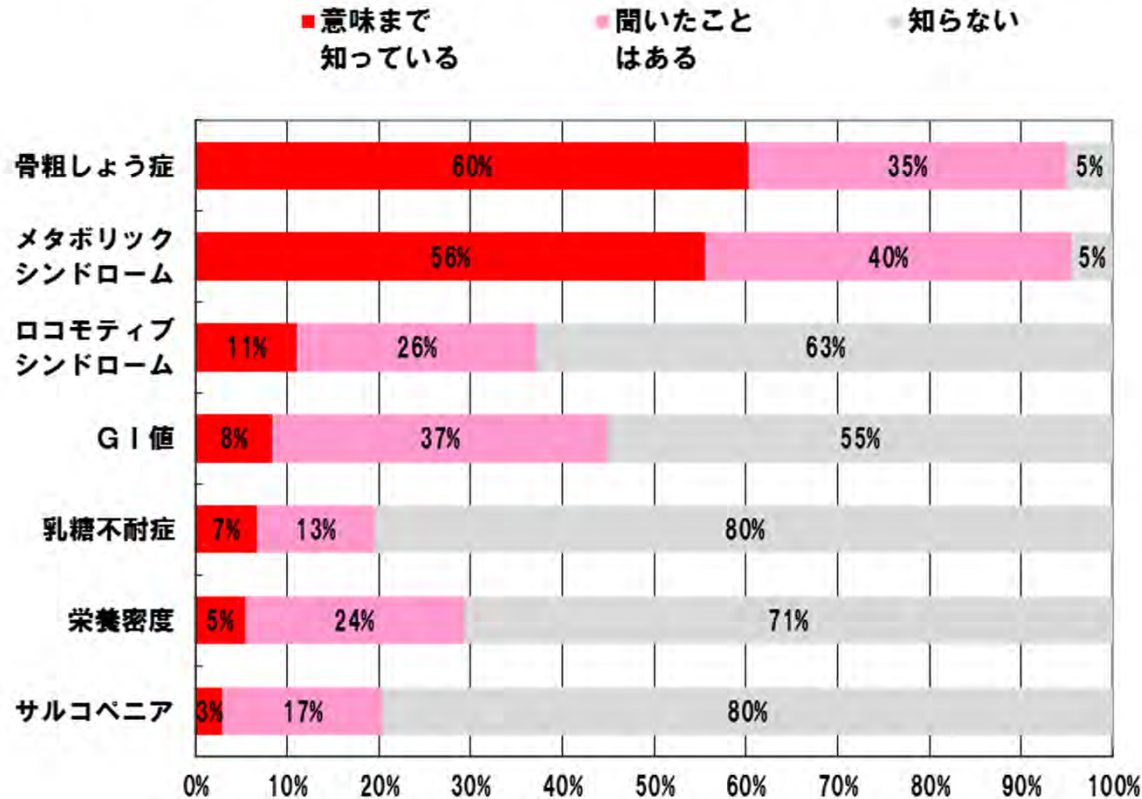
今現在、あなたは「血圧を下げる薬」を服用していますか。

新調査
新知見

全体		男性	女性
	血圧を下げる薬の服用		血圧を下げる薬の服用
全体	11.2% N=10395	男性(計) 14.5% N=5177	女性(計) 7.9% N=5218
		15~19歳 2.6% N=350	15~19歳 2.4% N=334
		20~29歳 1.9% N=783	20~29歳 1.3% N=757
		30~49歳 6.0% N=1970	30~49歳 2.3% N=1943
		50~64歳 25.3% N=1457	50~64歳 11.4% N=1488
		65~79歳 38.7% N=617	65~79歳 26.0% N=696

**血圧を下げる薬の利用は全体の11%
高年齢層の利用率が顕著に高くなっている。**

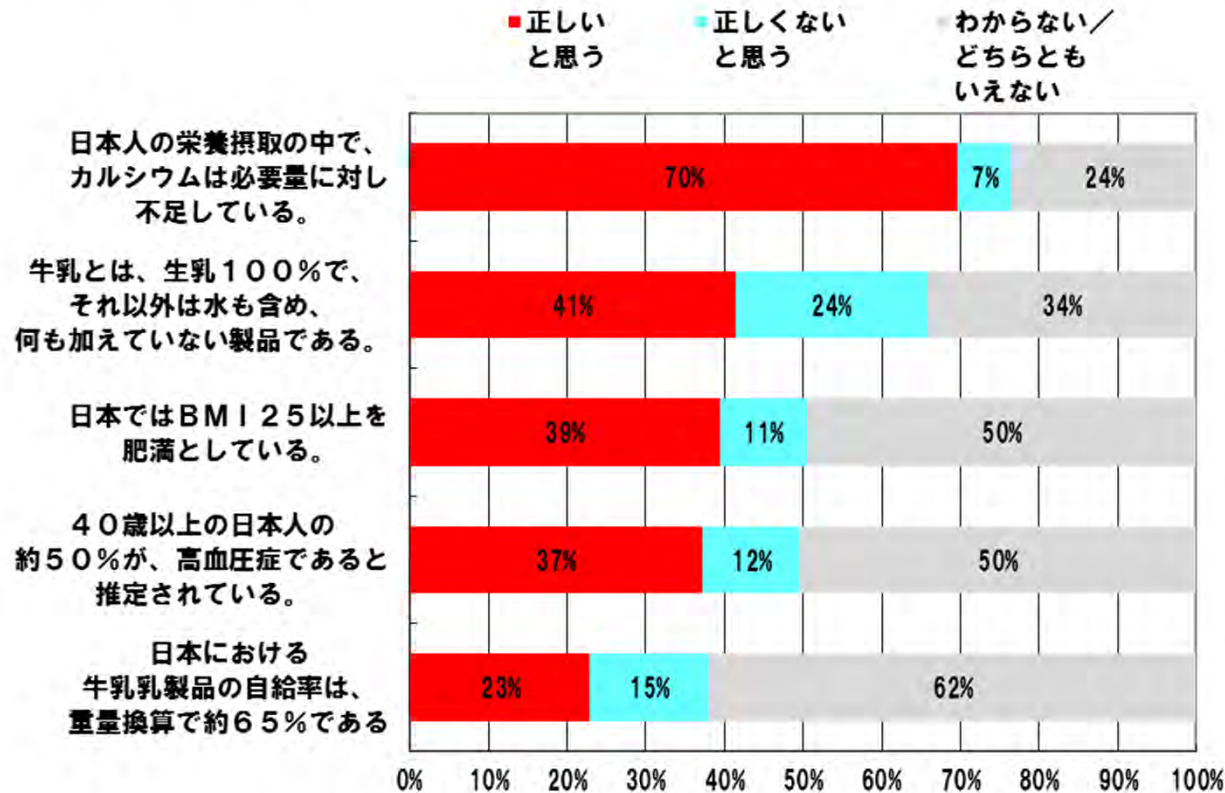
あなたご自身は、以下にあげた健康や栄養に関する言葉を、どれくらいご存知でしたか。



新調査
新知見

健康・栄養・牛乳に関する言葉の中で、
生活者からよく認識・理解されている言葉は「骨粗しょう症／メタボリックシンドローム」
逆に、あまり認識されていない言葉は「乳糖不耐症／栄養密度／サルコペニア」

下にあげた健康／栄養／牛乳に関する文章を読んで、あなたの現在の感覚や知識において、どう思ってお知らせください。



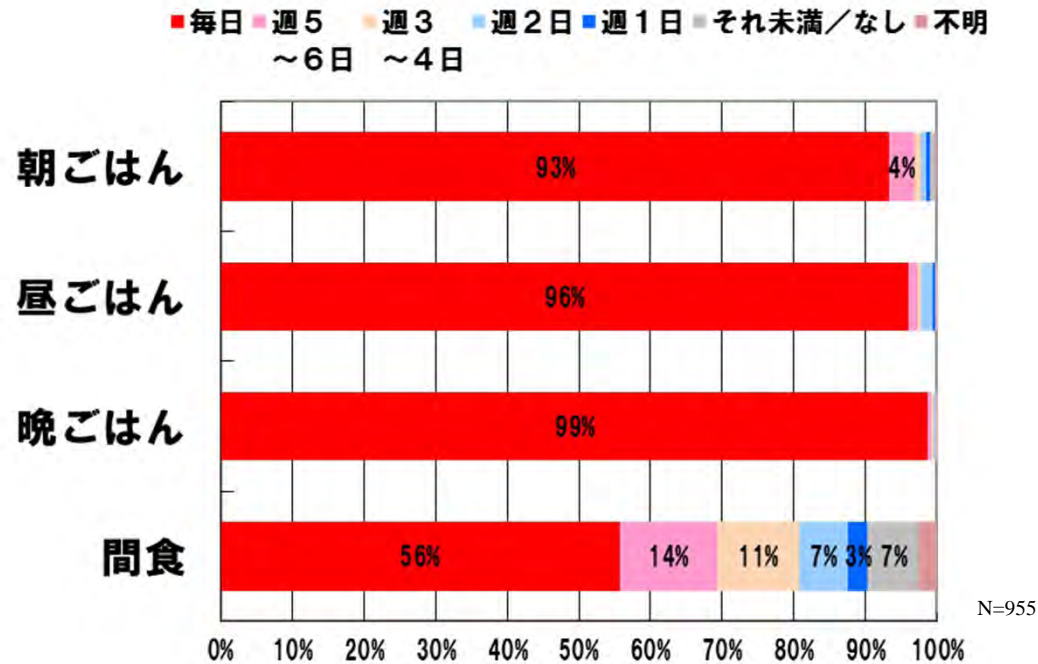
新調査
新知見

健康・栄養・牛乳に関する知識の中で、
生活者が最もよく理解しているのは「日本人のカルシウム不足」
逆に最も理解されていないのは「日本における牛乳乳製品の自給率」
最も、間違っ理解されているのは「牛乳は水も含め何も加えていない製品」

現在同居している3～18歳のお子様は、
朝ごはん昼ごはん晩ごはんの3食と間食(※)のそれぞれを、1週間のうちで何日程度食べていますか。

(※ 間食とは、例えば「夜食」のように、朝ごはん昼ごはん晩ごはん以外のタイミングで、何らかの食事やおやつをとることを指します。)

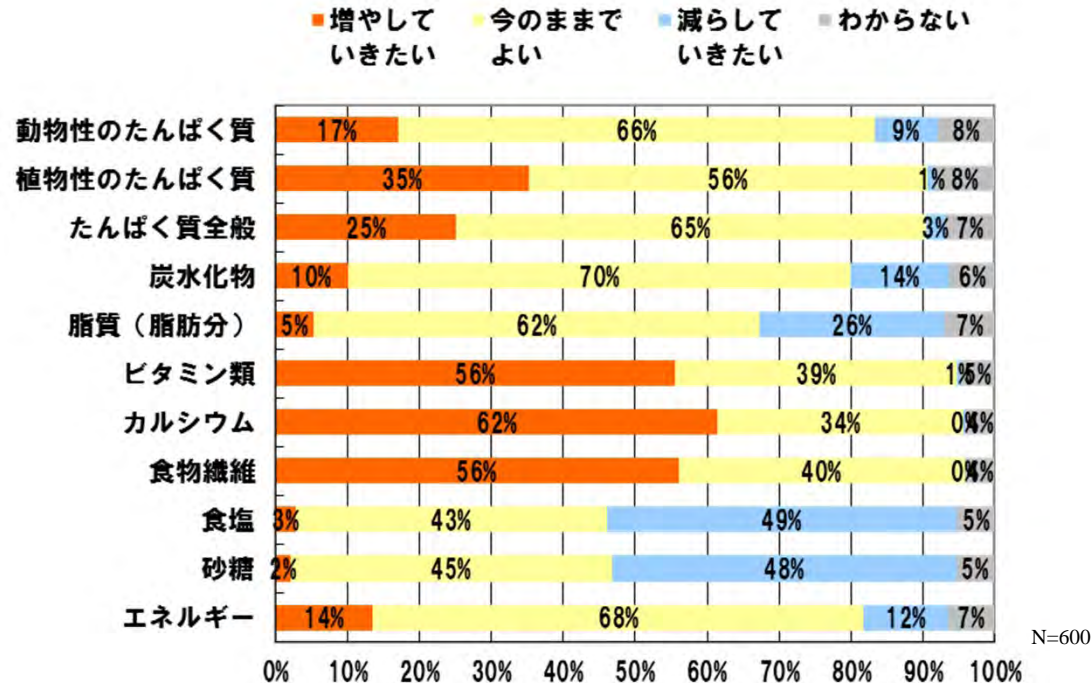
新調査
新知見



**(母親の認識において) 3～18歳の子どもは
朝ごはん／昼ごはん／晩ごはんをほぼ毎日食べている**

あなたは、お子様に与える食事に含まれる栄養／栄養素について、今後どうしたいと思われますか。

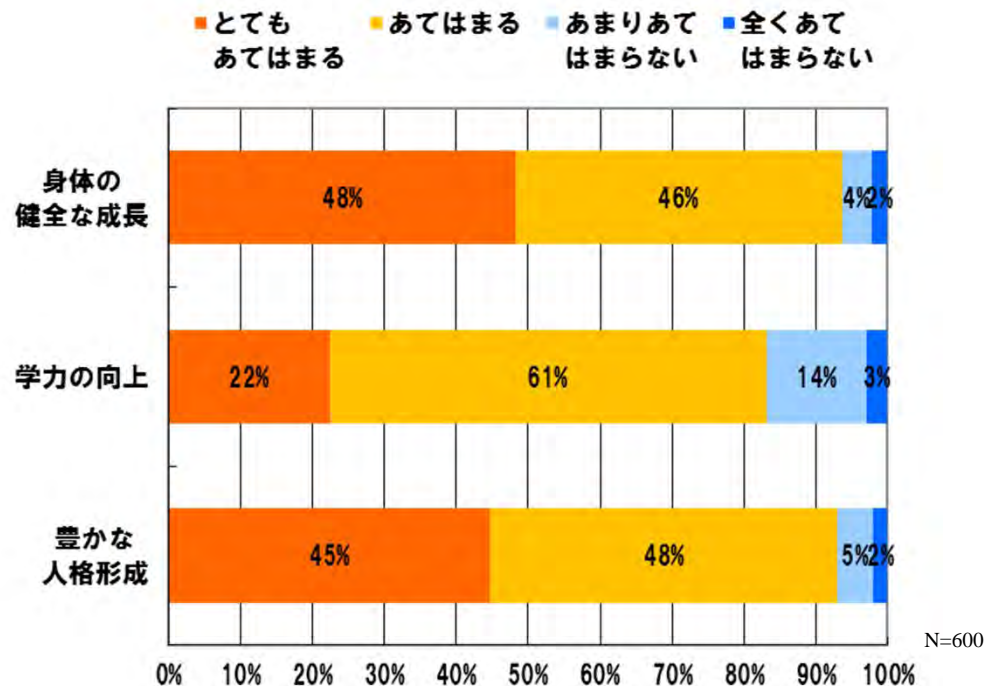
新調査
新知見



母親の多くが、子どもに与える食事の中で、いま増やしたいと思っている栄養(素)は、「ビタミン類／カルシウム／食物繊維」が上位3つ。
逆に、いま減らしたいと思っている栄養(素)は、「食塩／砂糖／脂質(脂肪分)」が上位3つ。
「たんぱく質」については動物性よりも植物性を増やしたい意向が強くなっている。

普段、あなたはどのようなことを目標にして、お子様を育てていますか。

新調査
新知見

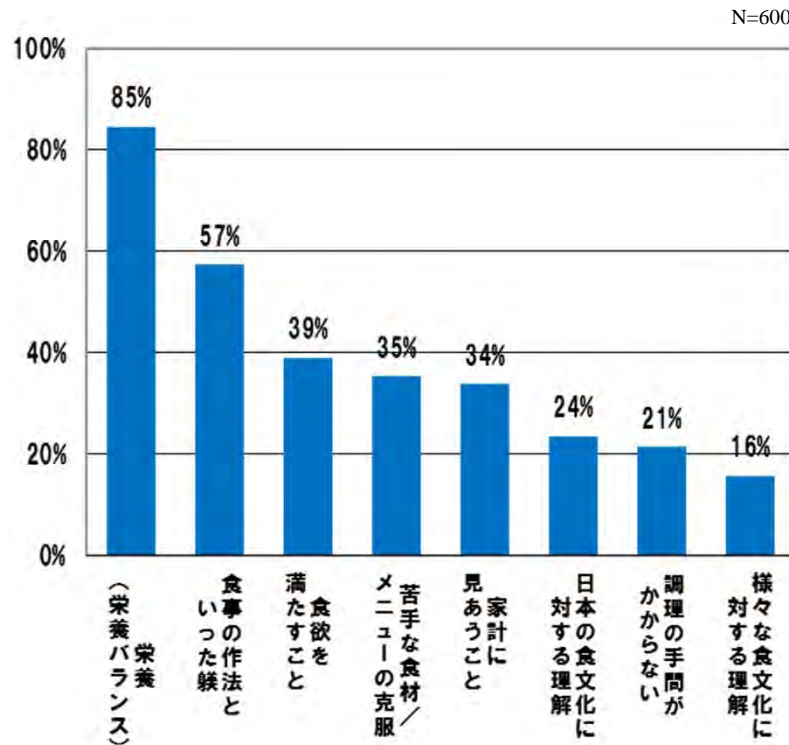


母親の子育て意識においては、
「身体的健全な成長」と「豊かな人格形成」の意識が
「学力の向上」よりも強くなっている。

新調査
新知見

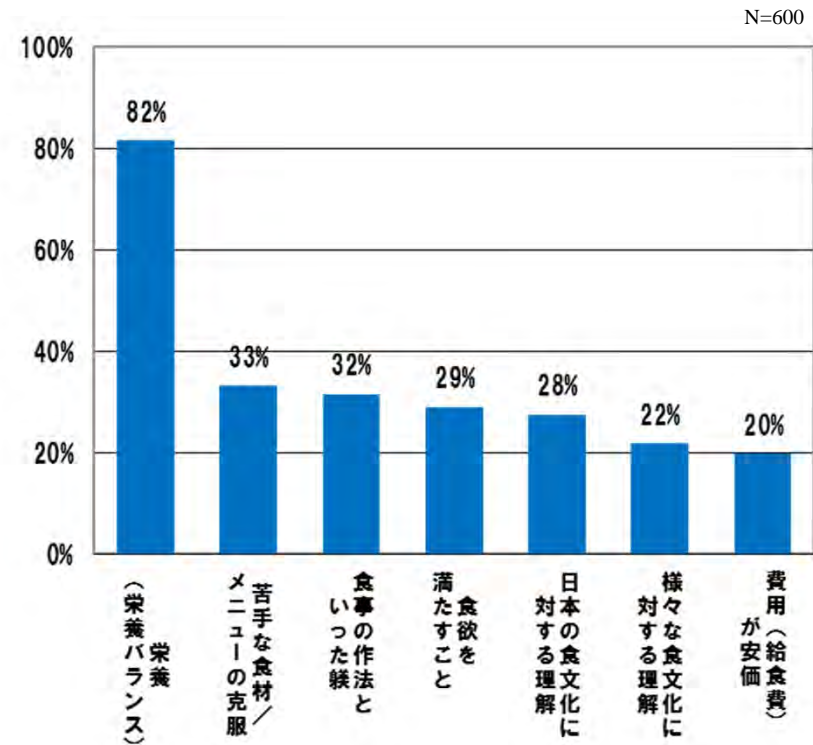
家庭での食事

お子様が食べる「家庭での食事」について、
あなたが大切にしたいと思うものをお知らせくだ
さい。



学校の給食

お子様が食べる「学校の給食」に対して、
あなたが求めるものをお知らせください。

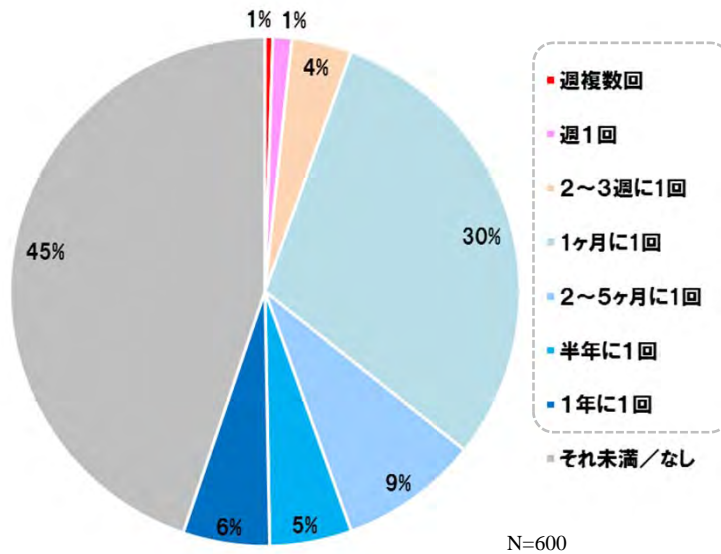


母親が、子どもが食べる「家庭での食事」と「学校の給食」に求めるものは
どちらにおいても「栄養(栄養バランス)」が突出している。

新調査
新知見

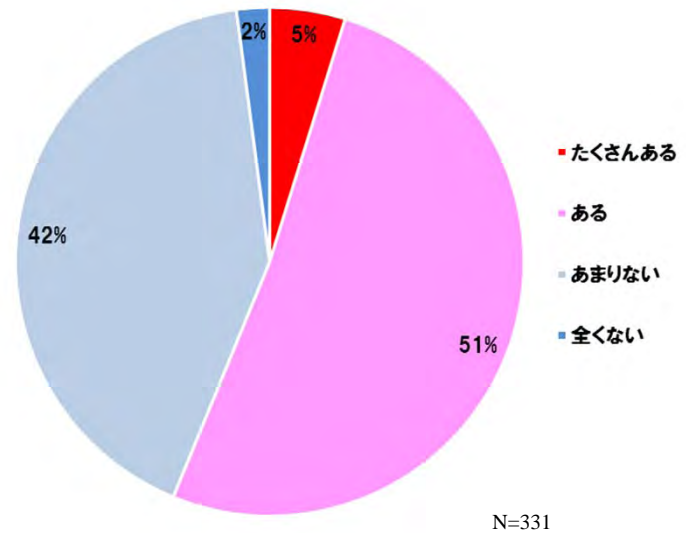
情報提供頻度

あなたはお子様が通っている保育所・幼稚園・学校などで活動している先生や保育士や栄養士などから、お子様に食べさせる食品や、お子様の食生活について、何かの情報が提供されることがどれくらいありますか。



役に立つ提供情報の有無

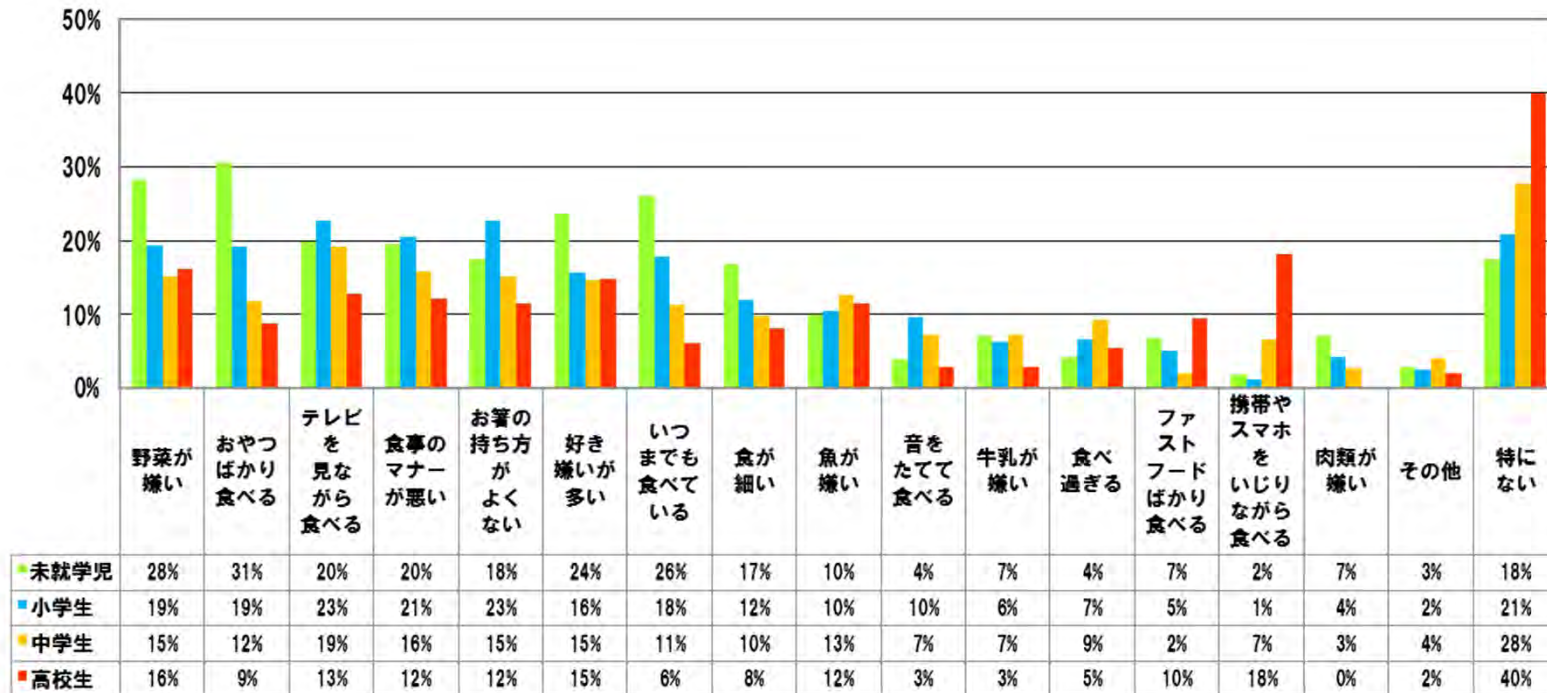
これまで、お子様が通っている保育所・幼稚園・学校などで活動している先生や保育士や栄養士などから、お子様に食べさせる食品や、お子様の食生活について提供された情報の中で、役に立つものはありましたか。



母親が、学校などから「子どもの食事」について得る情報の頻度は「月1回」が最も多いが、3分の2弱はほとんど情報が提供されていないと認識。提供される情報については、半数強が「役に立つものがある」と評価。

新調査
新知見

現在同居している3～18歳のお子様の食事・食生活について
あなたが困っていることや、出来れば直したいと思っていることをお知らせください

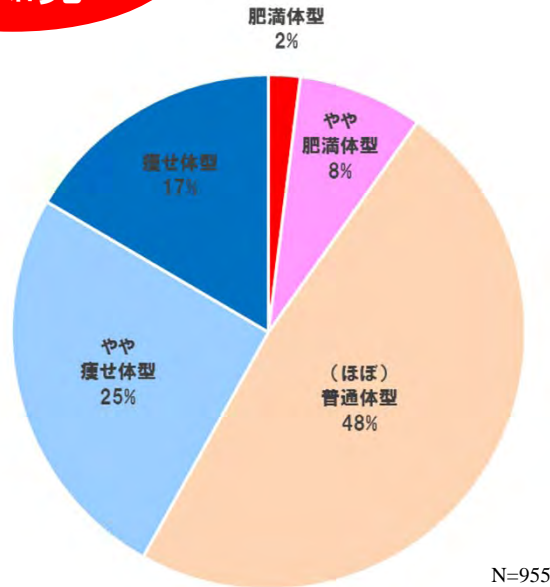


N=291/ 365/ 151/ 148

母親が、子どもの食事・食生活で困っていることは、
未就学児では、「野菜が嫌い／おやつばかり食べる／いつまでも食べている」が上位3つ。
小学生では、「テレビを見ながら食べる／食事マナー／お箸の持ち方」が上位3つ。
中学生では、「テレビを見ながら食べる」が目立ち、
高校生では、「携帯スマホをいじりながら食べる」が目立つ。

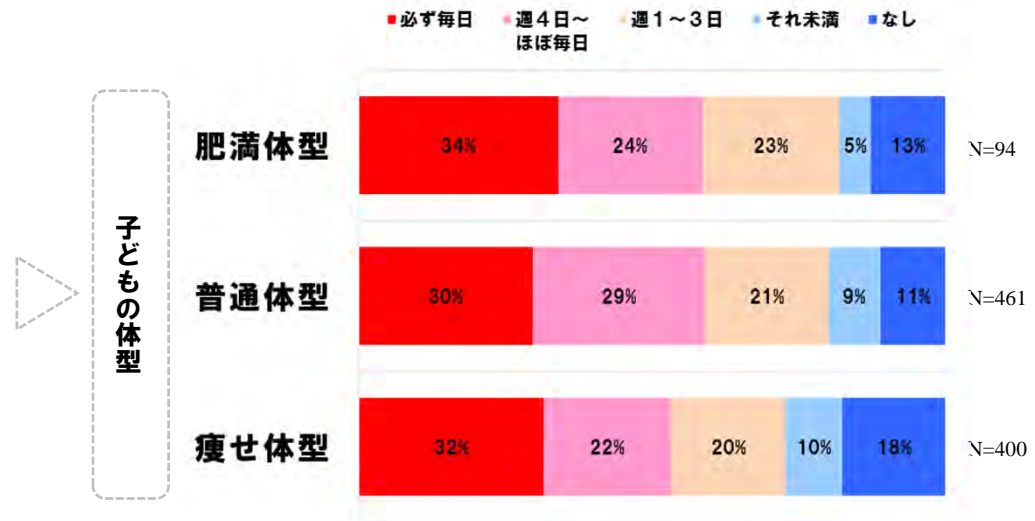
現在同居している3～18歳のお子様の
体型についてお知らせください。

新調査
新知見



現在同居している3～18歳のお子様は、いま現在、学校給食を除いて、
牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

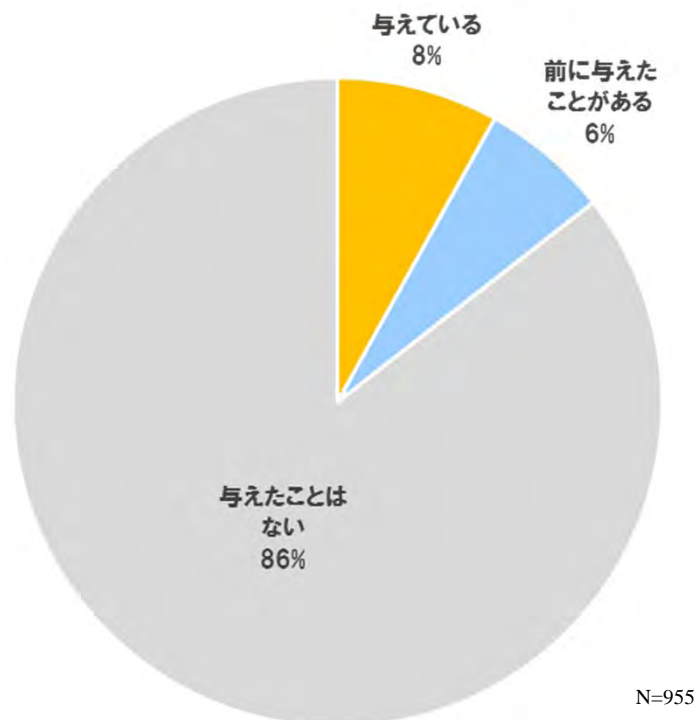


「普通体型」子どもの比率は半数。

「肥満体型」が1割程度なのに対して、「痩せ体型」は4割程度。

「痩せ体型」の子どもでは、牛乳をほとんど飲んでいない子どもの比率がやや高い。

同居している3～18歳のお子様に対して
あなたはいま、何らかのサプリメントや栄養補助食品を与えていますか。



新調査
新知見

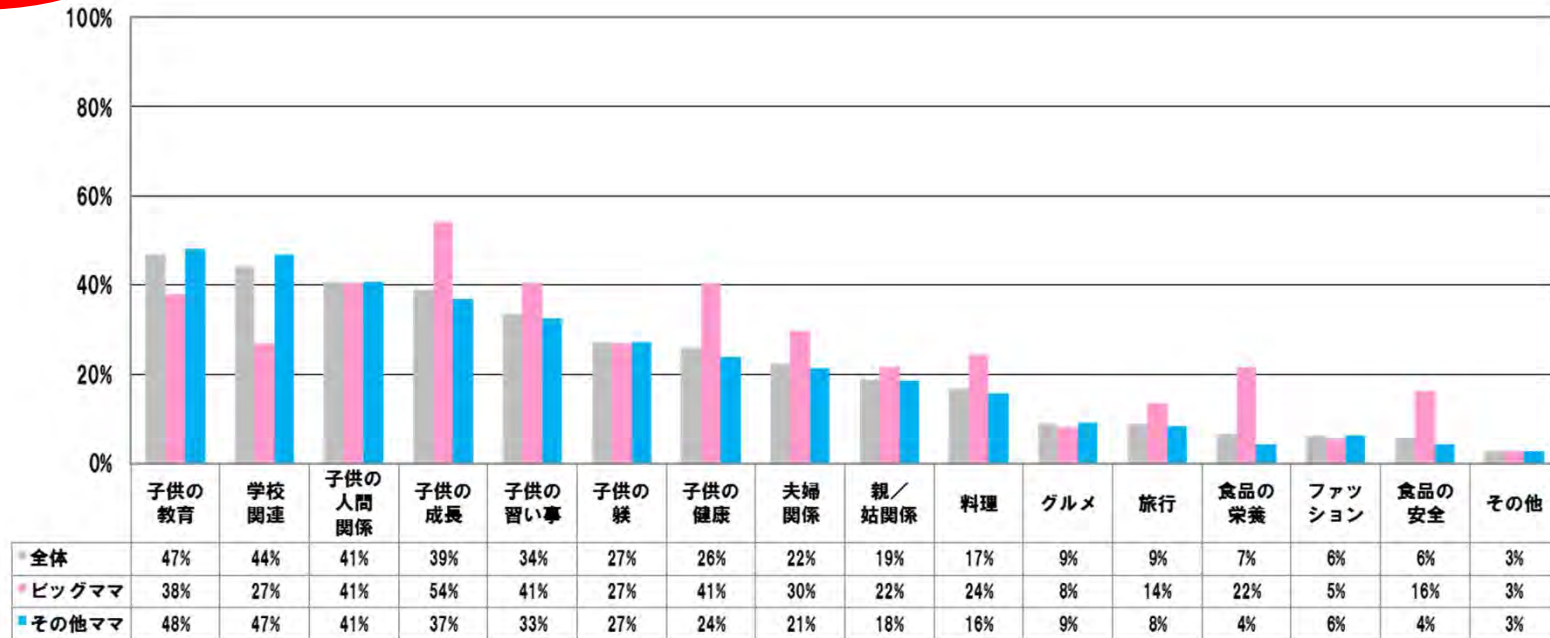
**子どもにサプリメントや栄養補助食品を与えている母親は、1割弱である。
(与えたことがある母親を含めても14%にとどまる。)**

4. ビッグママの食生活や健康に関する行動や意識の基本動向

(1) 他の母親から相談された内容

新調査
新知見

この2-3ヶ月で、あなたが他の母親から実際に相談されたことがある疑問や悩みの中身をお知らせください。



N=292/ 37/ 255

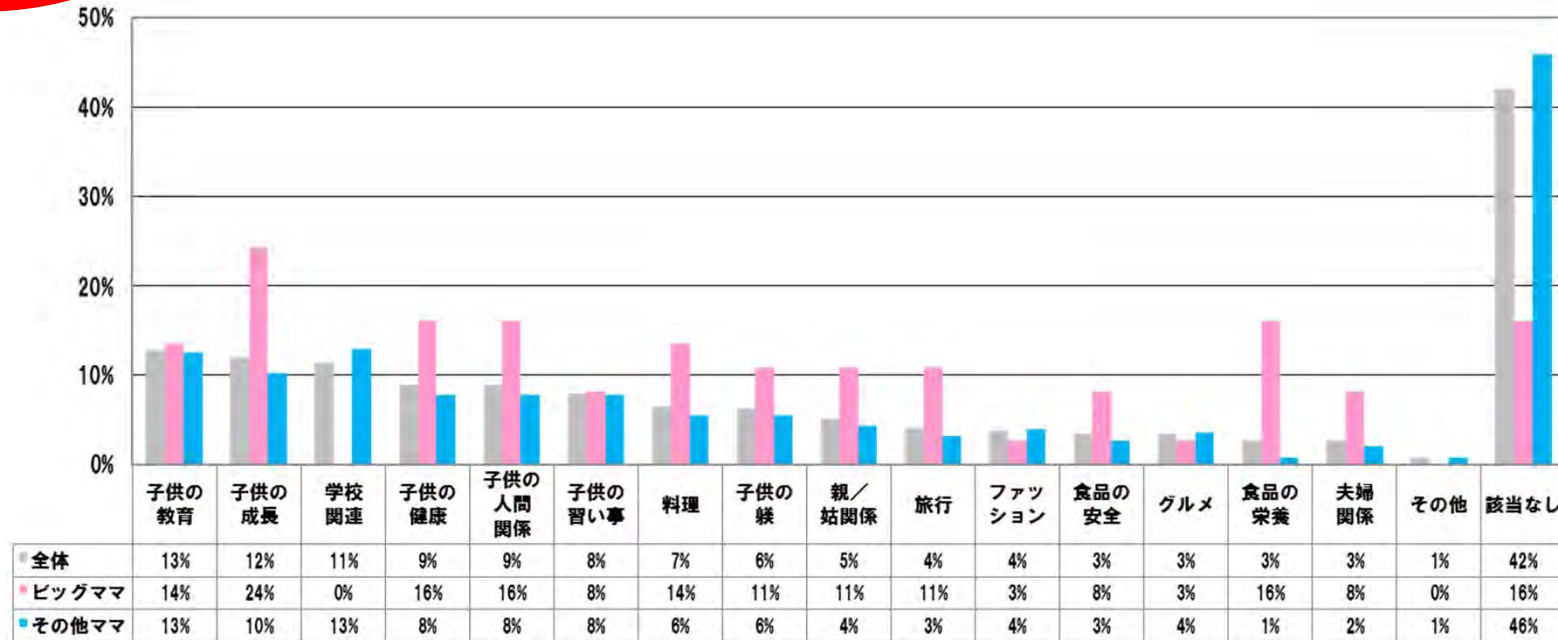
ビッグママ（※）は、そうでない母親と比べて、「子どもの成長」「子どもの健康」「食品の栄養」「食品の安全」について、特徴的によく相談されている。

（※4人以上のママ友から、週1以上何かを相談される母親）

(2) 他の母親に自信を持ってコメントできる内容

新調査
新発見

あなたが他の母親と会話する際に、
自分として自信を持ってコメントすることができる話題のテーマをお知らせください。



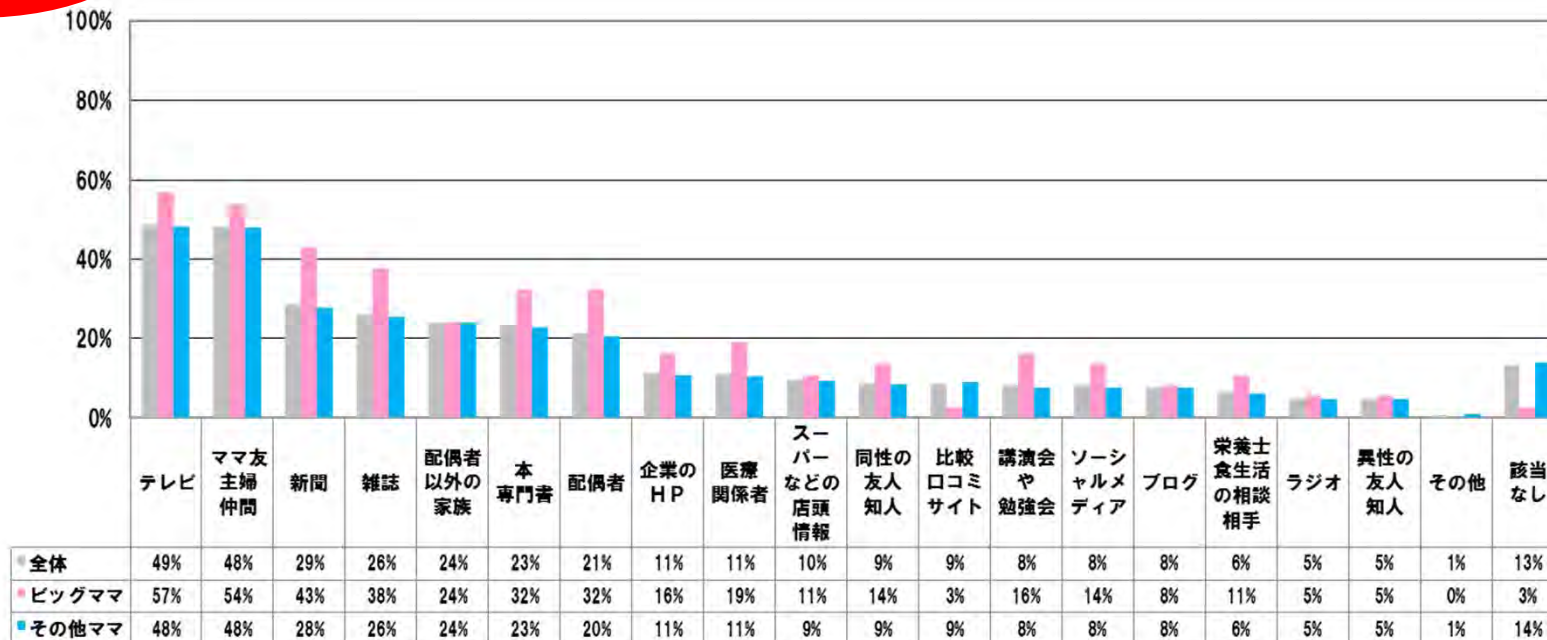
N=292/ 37/ 255

**ビッグママ（※）は、そうでない母親と比べて、
「子どもの成長」「食品の栄養」について、
特徴的に自信をもってコメントすることが出来ている。**

（※4人以上のママ友から、週1以上何かを相談される母親）

新調査
新知見

あなたが、子どもの成長や食生活に関する情報・知識・アイデアで、役に立つものが得られると思う情報源や人物をお知らせください

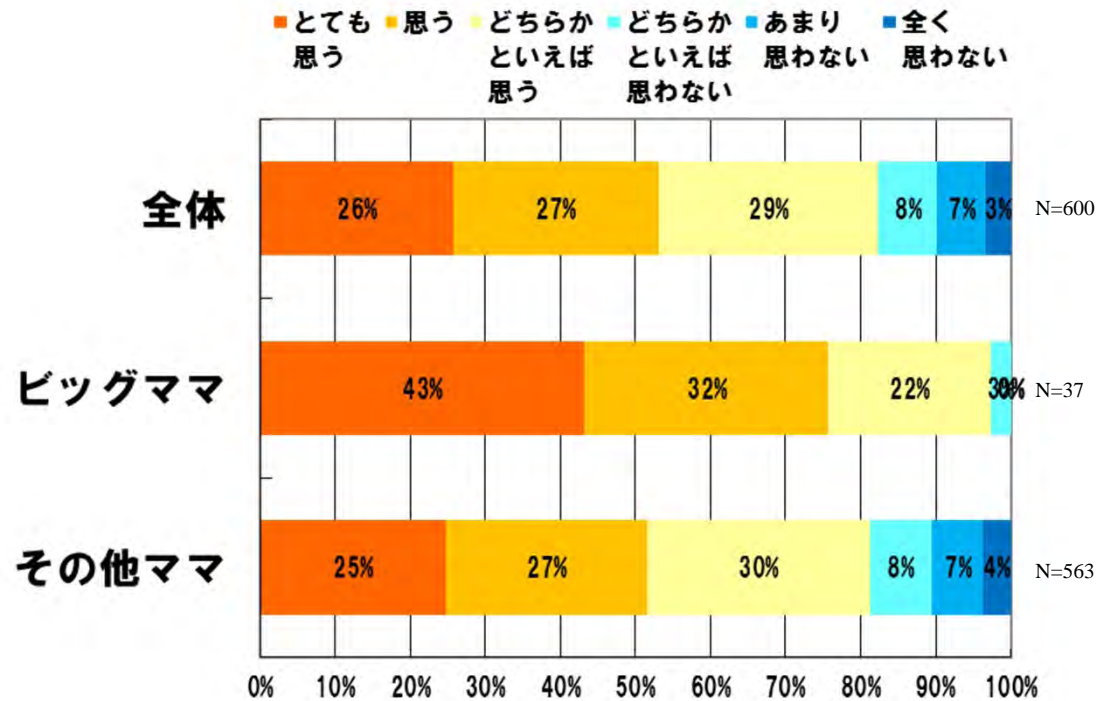


N=600/ 37/ 563

ビッグママ（※）は、そうでない母親と比べて、「新聞」「雑誌」「本・専門書」「医療関係者」「講演会や勉強会」「ソーシャルメディア」「栄養士」などの情報媒体からの知識・アイデアを役に立つと評価。

（※4人以上のママ友から、週1以上何かを相談される母親）

あなたは「牛乳」のことを、「あなたの子供や家族にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。



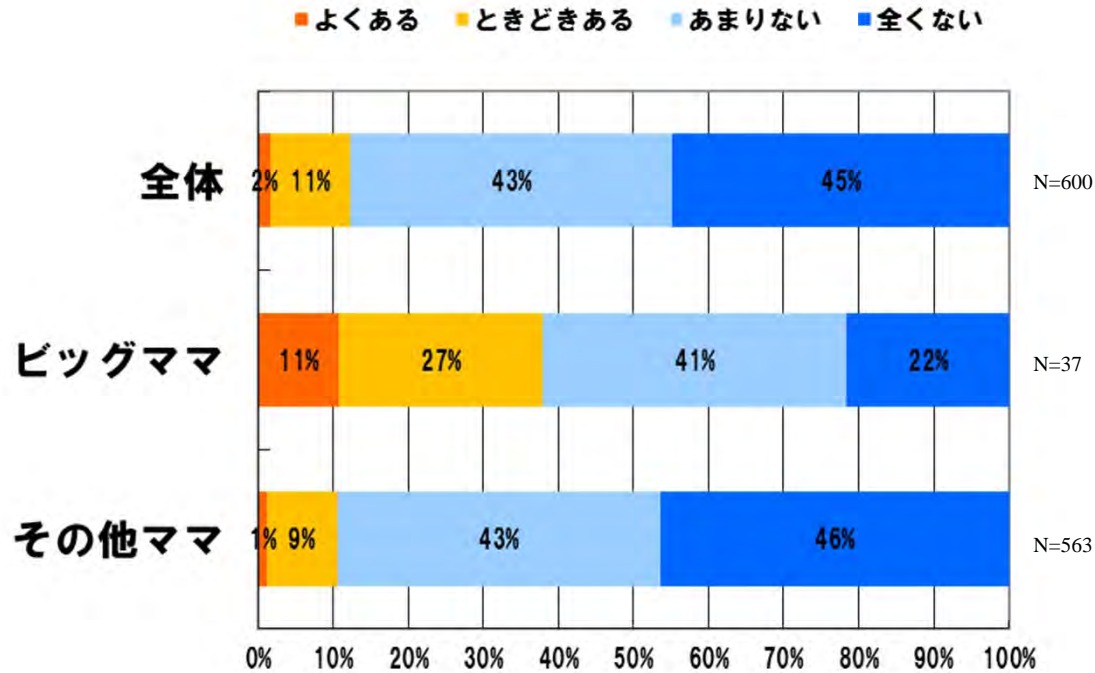
新調査
新知見

ビッグママ(※)は、そうでない母親と比べて、「牛乳を子供(家族)にとって大切」と思う気持ちが、より強い。

(※4人以上のママ友から、週1以上何かを相談される母親)

普段、あなたは他の母親(主婦仲間やママ友)との会話において、牛乳・乳製品の話をする事がどれくらいありますか。

新調査
新知見



ビッグママ(※)は、そうでない母親と比べて、他の母親との会話において、牛乳乳製品の話をよくしている。

(※4人以上のママ友から、週1以上何かを相談される母親)

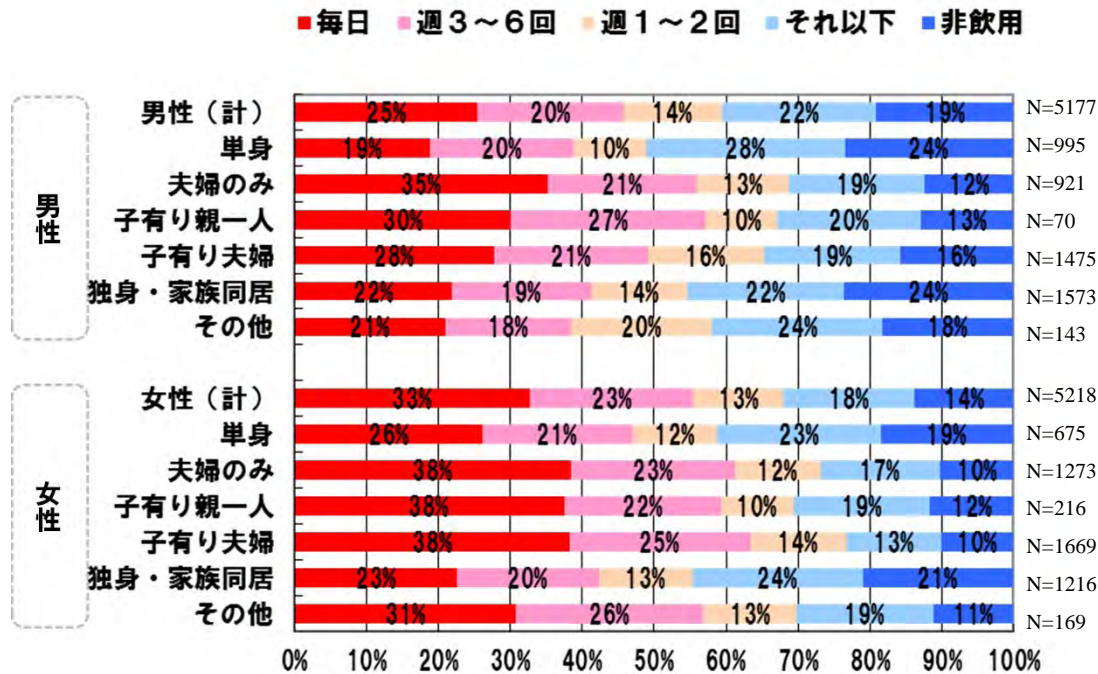
5. 牛乳飲用に影響を与えている諸要因

(ライフスタイル／1) 家族形態別の牛乳飲用頻度

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

継続
新知見



男女ともに単身世帯及び独身において、牛乳をほとんど飲まない人の比率が特に高い。

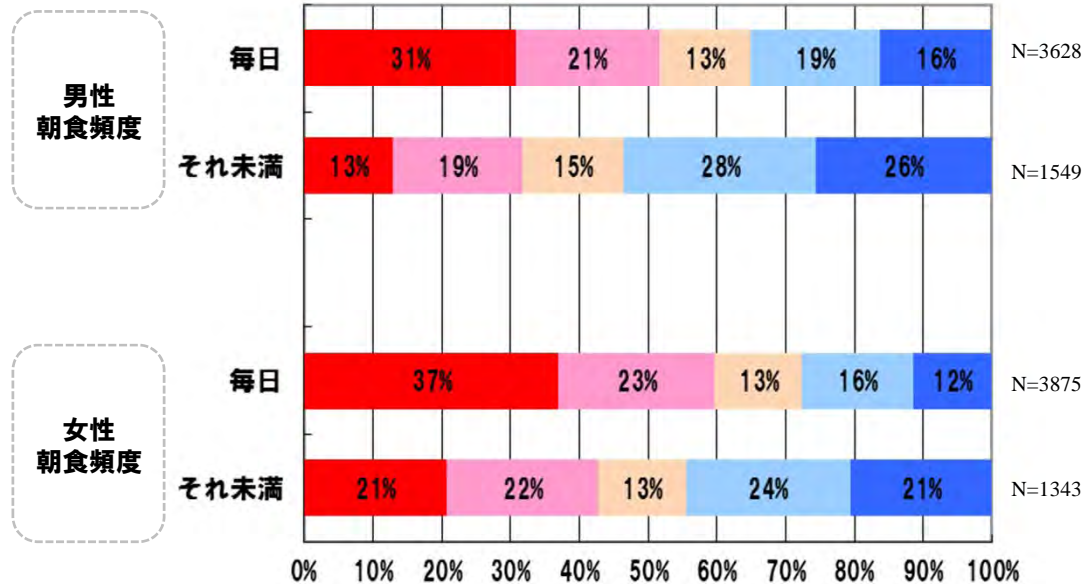
(ライフスタイル／2) 朝食頻度別の牛乳飲用頻度

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

2014年度
新規採用項目

■ 毎日 ■ 週3～6回 ■ 週1～2回 ■ それ以下 ■ 非飲用



新調査
新知見

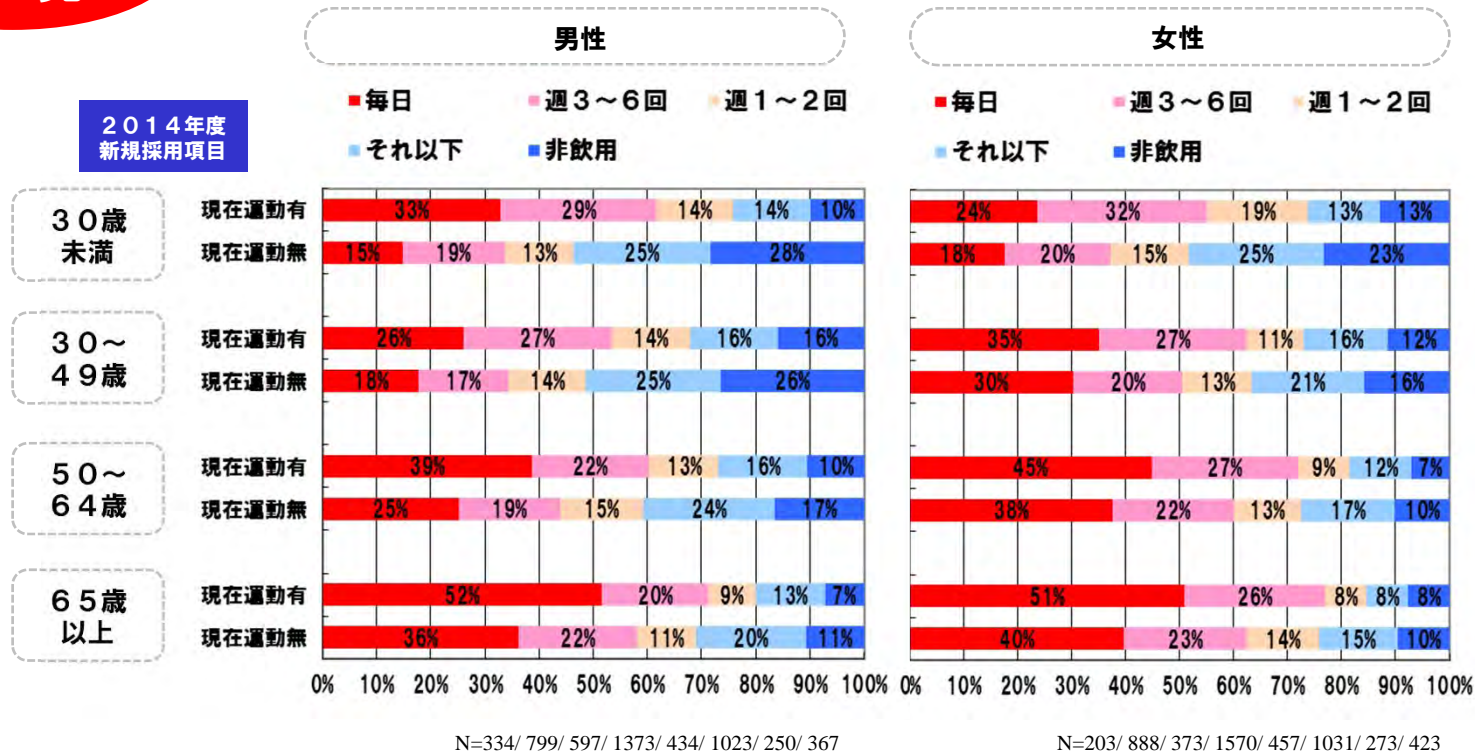
男女ともに、朝食を毎日とる人の牛乳飲用頻度が明らかに高い。

(ライフスタイル/3) 現在の運動有無別の牛乳飲用頻度

新調査
新知見

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



**男女ともに、全ての年代で、
運動をしている人ほど、牛乳飲用頻度が高くなる。
特に、男性では50歳未満、女性では30歳未満において、
運動をしていない人の場合、牛乳をほとんどの飲まない比率が高い。**

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

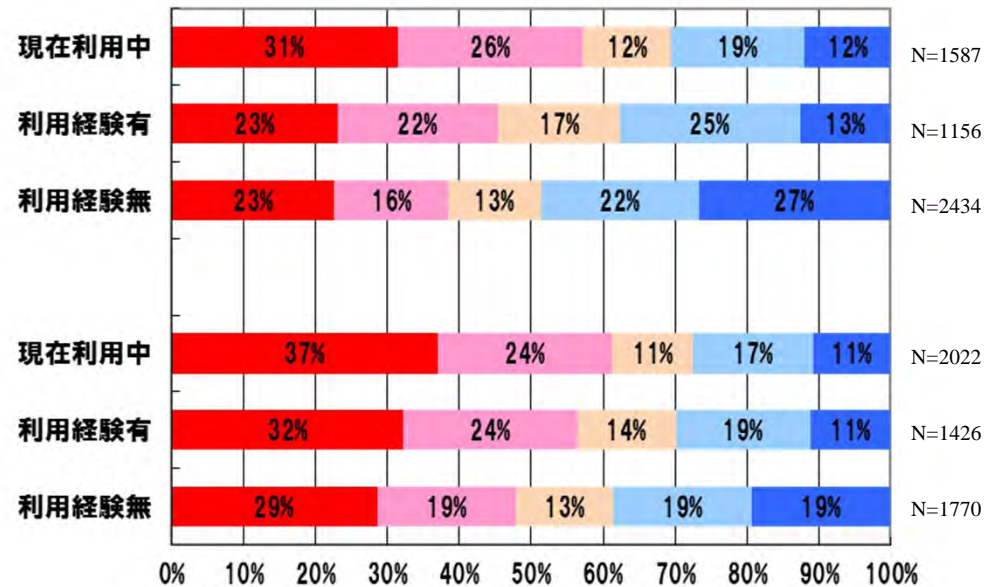
(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

2014年度
新規採用項目

男性
サプリメント
利用

女性
サプリメント
利用

■ 毎日 ■ 週3～6回 ■ 週1～2回 ■ それ以下 ■ 非飲用



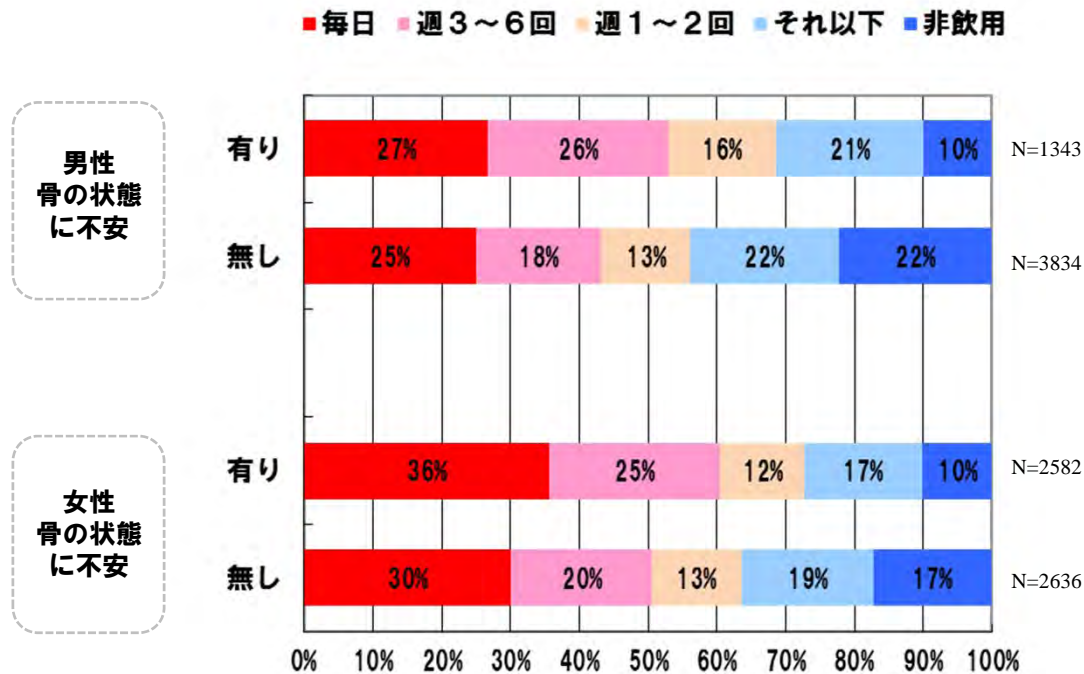
新調査
新知見

男女ともに、サプリメントを利用している人ほど牛乳飲用頻度が高くなる。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

継続
新知見

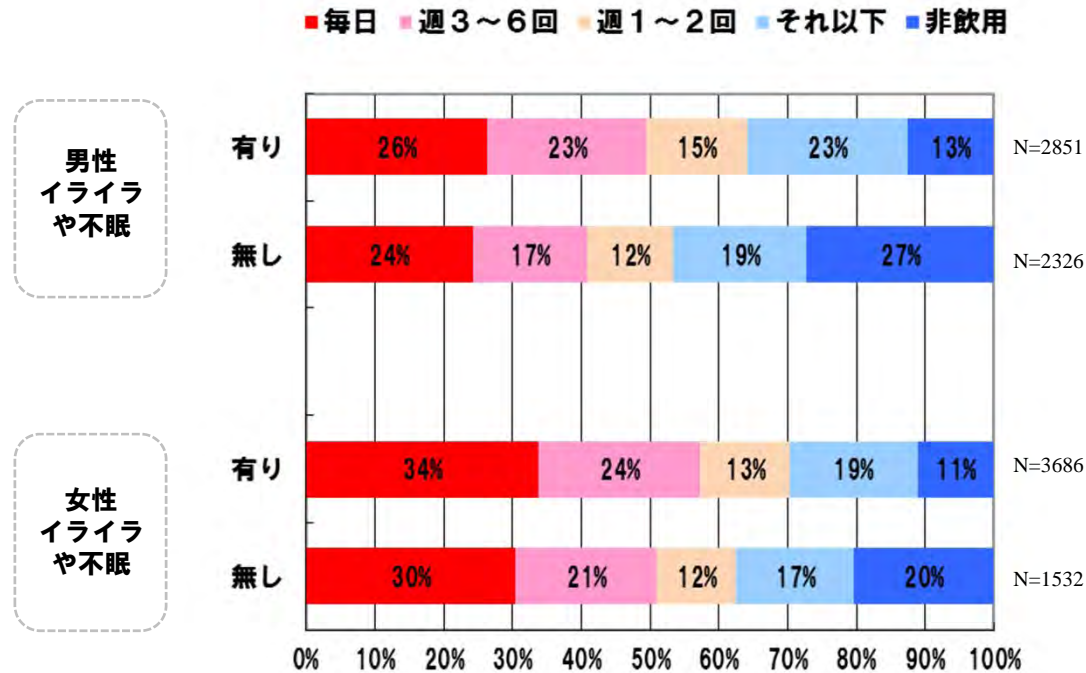


男女ともに、骨の状態に不安があるひとほど、牛乳飲用頻度が高い傾向がある。
その一方で、そうでない人は牛乳を飲用しない比率が明らかに高い。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

継続
新知見

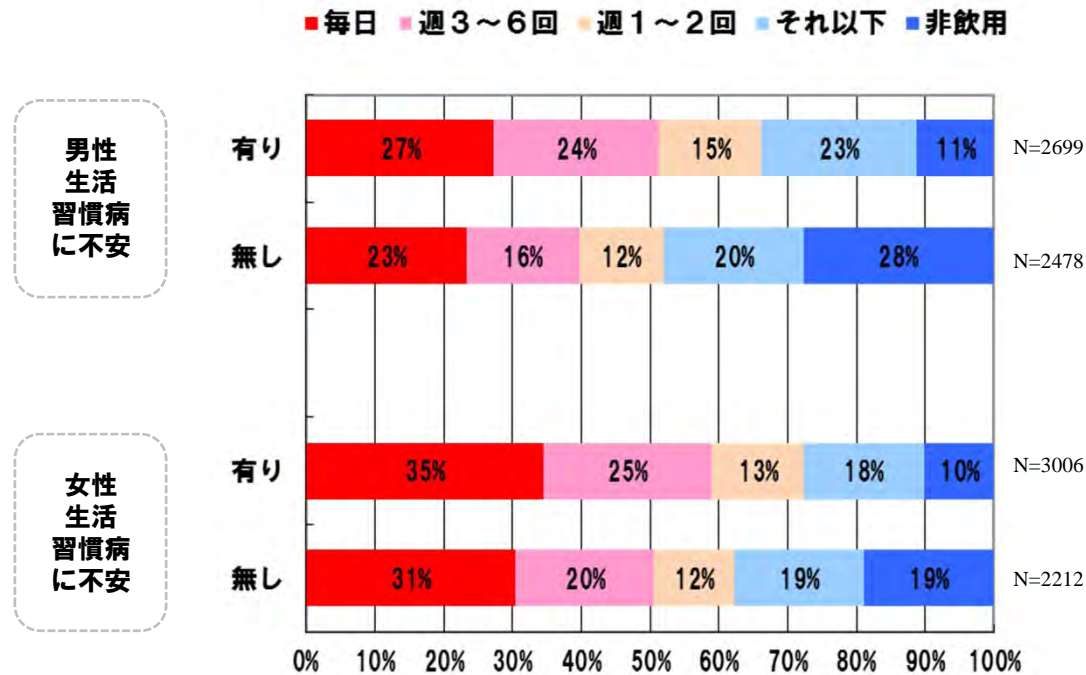


男女ともに、イライラや不眠の自覚がある人ほど牛乳飲用頻度が高い傾向がある。
その一方で、そうでない人は牛乳を飲用しない比率が高い傾向にある。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

継続
新知見

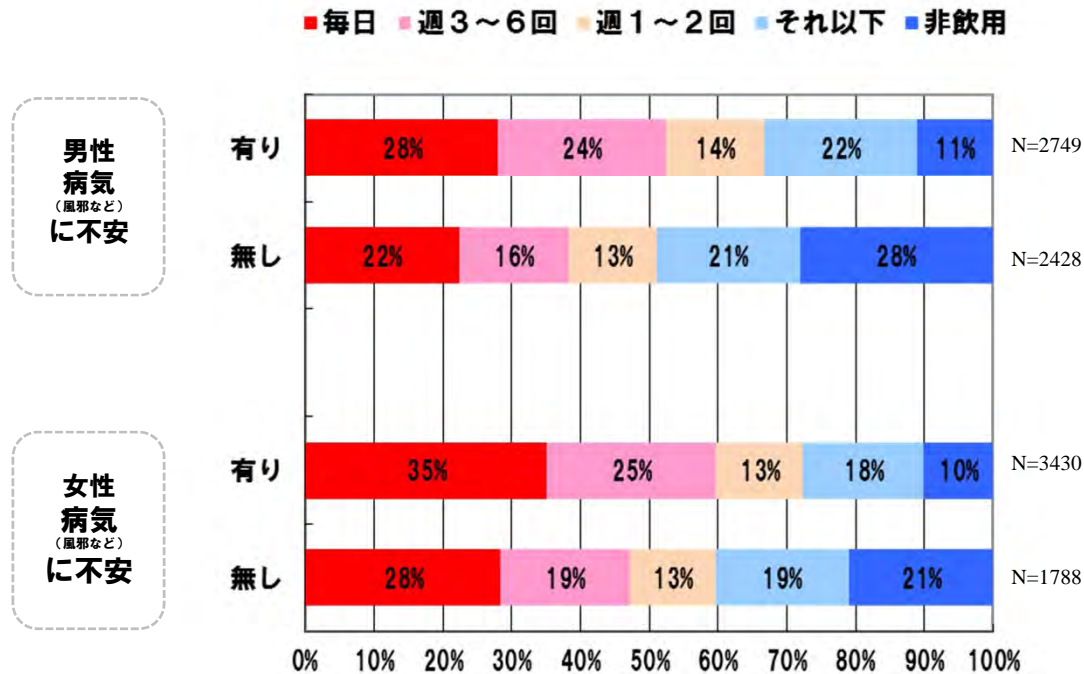


男女ともに、生活習慣病に不安がある人ほど牛乳飲用頻度が高い傾向にある。
その一方で、そうでない人は牛乳を飲用しない比率が高い。特に男性でその傾向が強い。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

継続
新知見



男女ともに、病気（風邪インフルエンザ）に不安がある人ほど牛乳飲用頻度が高い傾向がある。
その一方で、そうでない人は牛乳を飲用しない比率が高い。

(健康行動／2-1) 様々な健康行動の有無別の牛乳飲用頻度

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

新調査
新発見

全体より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
全体より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

全体	毎日	週3～6回	週1～2回	それ以下	非飲用	
全体	29%	22%	13%	20%	16%	N=10395
三食食べる	35%	23%	13%	18%	11%	N=6347
栄養成分やカロリーをチェック	39%	25%	11%	16%	9%	N=1880
栄養により食べる順番に注意	40%	25%	11%	15%	9%	N=1740
夜遅くは食事しない	36%	24%	12%	18%	10%	N=4033
減塩中	42%	25%	11%	14%	8%	N=1244
減塩調味料の使用あり	39%	24%	13%	17%	8%	N=1469
年に1回は検診を受診	39%	23%	11%	18%	9%	N=2984
生活習慣改善の指導あり	41%	25%	9%	17%	8%	N=833
骨密度の測定あり	45%	22%	10%	16%	7%	N=1475

当てはまる健康意識・行動

2014年度
新規採用項目

全般的に、健康を意識した行動を行っている人ほど、
全体平均の比較して、牛乳飲用頻度が高くなっている。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



男性(計)より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
男性(計)より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

女性(計)より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
女性(計)より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

当てはまる健康意識・行動

男性のみ	毎日	週3～6回	週1～2回	それ以下	非飲用
男性(計)	25%	20%	14%	22%	19%
三食食べる	32%	23%	14%	19%	13%
栄養成分やカロリーをチェック	37%	25%	12%	17%	10%
栄養により食べる順番に注意	38%	25%	12%	15%	10%
夜遅くは食事しない	33%	23%	13%	20%	11%
減塩中	39%	26%	11%	16%	8%
減塩調味料の使用あり	37%	23%	11%	22%	9%
年に1回は検診を受診	35%	23%	11%	22%	10%
生活習慣改善の指導あり	37%	26%	8%	20%	9%
骨密度の測定あり	38%	24%	11%	18%	10%

当てはまる健康意識・行動

女性のみ	毎日	週3～6回	週1～2回	それ以下	非飲用
女性(計)	33%	23%	13%	18%	14%
三食食べる	38%	24%	13%	16%	10%
栄養成分やカロリーをチェック	40%	24%	11%	16%	9%
栄養により食べる順番に注意	41%	25%	10%	15%	9%
夜遅くは食事しない	38%	24%	12%	16%	10%
減塩中	45%	24%	11%	12%	9%
減塩調味料の使用あり	41%	25%	14%	14%	7%
年に1回は検診を受診	43%	23%	12%	14%	7%
生活習慣改善の指導あり	48%	22%	11%	12%	7%
骨密度の測定あり	47%	21%	10%	15%	6%

2014年度
新規採用項目

N=5177/ 3041/ 674/ 634/ 1595/ 550/ 550/ 1421/ 498/ 240

2014年度
新規採用項目

N=5218/ 3306/ 1206/ 1106/ 2438/ 694/ 919/ 1563/ 335/ 1235

男女別に見ても、同様の傾向であるが、特に、男性の方が、その傾向が強い。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



40代以下(計)より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
40代以下(計)より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

40代以下のみ	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用
40代以下(計)	23%	21%	14%	22%	20%
三食食べる	30%	24%	14%	20%	13%
栄養成分やカロリーをチェック	31%	26%	14%	19%	11%
栄養により食べる順番に注意	32%	28%	12%	18%	11%
夜遅くは食事しない	29%	24%	15%	21%	12%
減塩中	35%	25%	14%	17%	10%
減塩調味料の使用あり	32%	24%	14%	22%	9%
年に1回は検診を受診	31%	22%	13%	22%	11%
生活習慣改善の指導あり	34%	26%	11%	17%	13%
骨密度の測定あり	41%	20%	11%	18%	10%

当てる健康意識・行動

N=6137/ 3249/ 1006/ 867/ 1882/ 451/ 610/ 1074/ 254/ 403

2014年度
新規採用項目

40代以下(計)より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
40代以下(計)より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

50代以上のみ	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用
50代以上(計)	37%	22%	12%	17%	11%
三食食べる	41%	23%	12%	15%	9%
栄養成分やカロリーをチェック	48%	23%	8%	14%	8%
栄養により食べる順番に注意	48%	22%	10%	13%	8%
夜遅くは食事しない	43%	24%	10%	15%	8%
減塩中	47%	24%	9%	12%	8%
減塩調味料の使用あり	44%	24%	11%	14%	7%
年に1回は検診を受診	44%	24%	11%	15%	7%
生活習慣改善の指導あり	44%	24%	8%	17%	6%
骨密度の測定あり	47%	23%	10%	15%	6%

当てる健康意識・行動

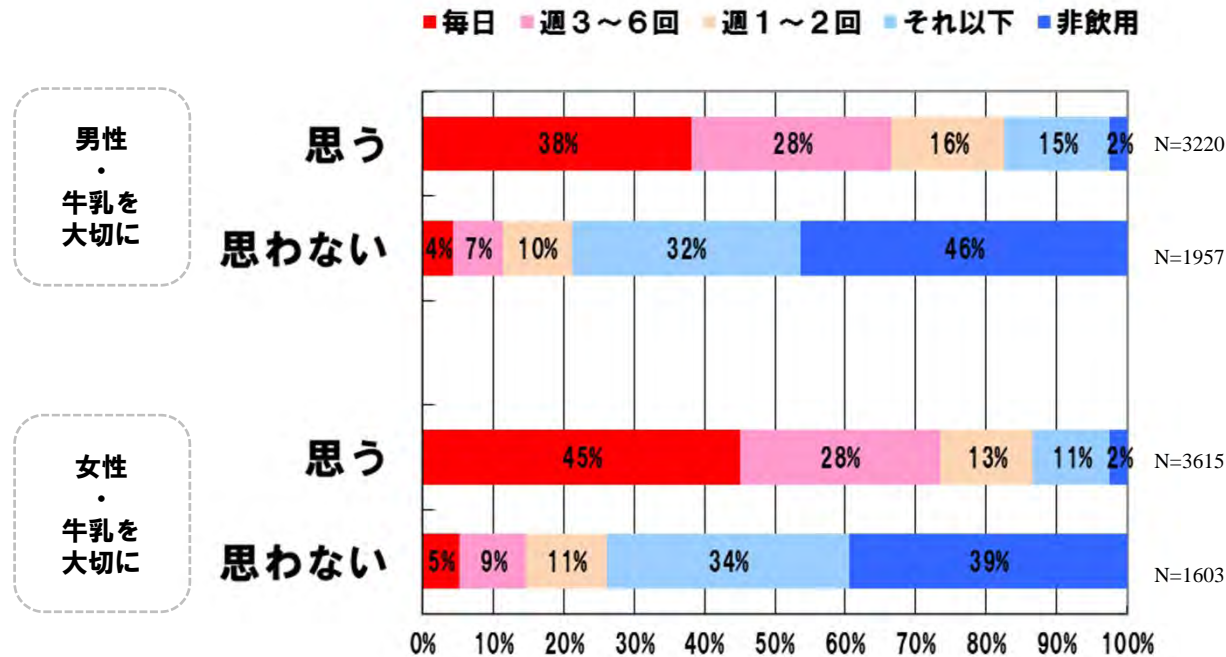
N=4258/ 3098/ 874/ 873/ 2151/ 793/ 859/ 1910/ 579/ 1072

2014年度
新規採用項目

年代別に見ると、50代以上は、「栄養成分・カロリーのチェック」「食べる順番に注意」「減塩中」「骨密度の測定」の行動を取る人において、牛乳飲用頻度が高くなっている。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

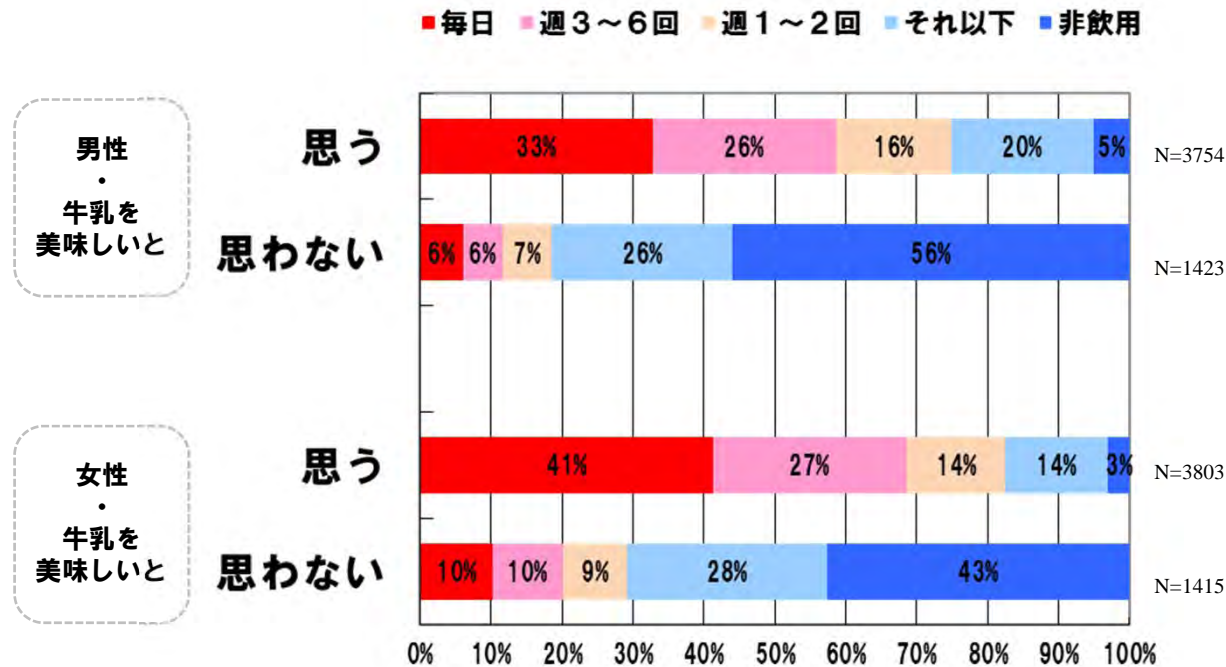


男女ともに「牛乳を自分にとって大切と思う」人の牛乳飲用頻度が高く、逆に、思わない人の場合、牛乳をほとんど飲まない比率が顕著に高い。

(牛乳への意識／2) 牛乳を美味しく思う気持ち有無別の牛乳飲用頻度

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)



**男女ともに「牛乳を美味しいと思う」人の牛乳飲用頻度が高い。
逆に、思わない人の場合、牛乳をほとんど飲まない比率が顕著に高い。**

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

「感じない」より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
「感じない」より-5%で薄い青、-10%で濃い青。



酪農家に
「誠実さ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	33%	24%	14%	19%	10%	N=7803
感じない	18%	15%	11%	21%	35%	N=2592

酪農家に
「親しみ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	33%	24%	14%	19%	10%	N=6911
感じない	21%	16%	12%	22%	30%	N=3484

酪農家に
「感謝」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	33%	24%	14%	19%	10%	N=7728
感じない	19%	15%	11%	21%	35%	N=2667

酪農家に対して、共感意識を持つ人ほど、
牛乳飲用頻度が高くなっている。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

「感じない」より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
「感じない」より-5%で薄い青、-10%で濃い青。

継続
新知見

牛乳メーカーに
「誠実さ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	34%	24%	14%	19%	9%	N=6422
感じない	21%	17%	12%	22%	28%	N=3953

牛乳メーカーに
「親しみ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	34%	24%	14%	19%	9%	N=6264
感じない	22%	17%	12%	22%	28%	N=4131

牛乳メーカーに
「感謝」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	34%	24%	14%	18%	10%	N=6074
感じない	22%	17%	12%	22%	26%	N=4321

牛乳メーカーに対して、共感意識を持つ人ほど、
牛乳飲用頻度が高くなっている。

いま現在、あなたご自身は牛乳類(※)をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。

(※ ここにおける「牛乳類」は、成分無調整牛乳、成分調整牛乳、低脂肪乳、無脂肪乳、加工乳、機能強化乳飲料などの白い牛乳類を指します。コーヒーやフルーツ等が入った乳飲料は含みません。)

「感じない」より+5%で薄い黄、+10%で濃い黄。
「感じない」より-5%で薄い青、-10%で濃い青。



牛乳販売店に
「誠実さ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	33%	24%	14%	19%	10%	N=5700
感じない	24%	18%	12%	21%	25%	N=4695

牛乳販売店に
「親しみ」を

	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	32%	24%	14%	20%	9%	N=5335
感じない	26%	18%	12%	20%	24%	N=5060

牛乳販売店に
「感謝」を

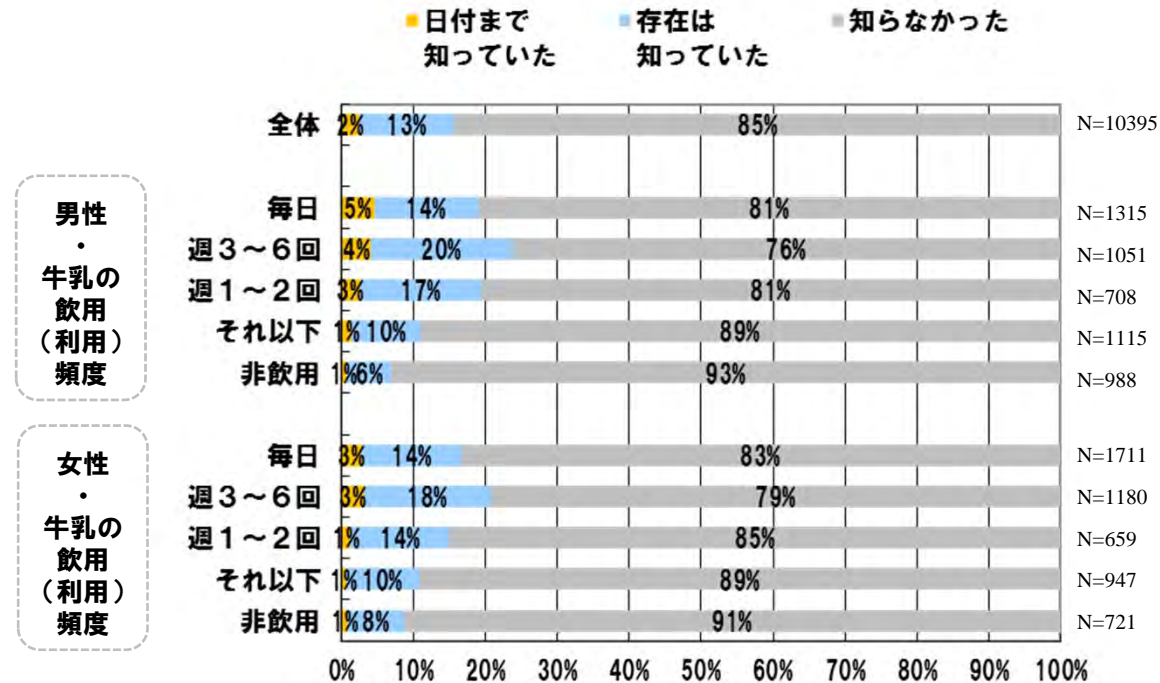
	毎日	週3~6回	週1~2回	それ以下	非飲用	
感じる	33%	24%	14%	19%	10%	N=5398
感じない	25%	18%	12%	20%	24%	N=4997

**牛乳販売店に対して、共感意識を持つ人ほど、
牛乳飲用頻度が高くなっている。
ただ、酪農家、牛乳メーカーに対するよりも、その傾向は少し弱い。**

6. 「牛乳の日」認知状況

「牛乳の日」認知状況（牛乳飲用頻度別）

あなたご自身は、この調査以前に、「牛乳の日（6月1日）」について、どれくらいご存知でしたか。

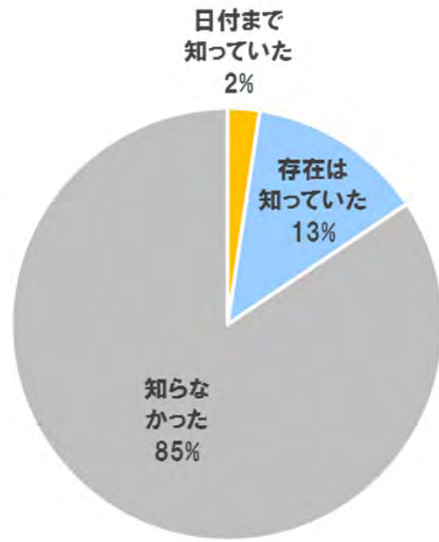


「牛乳の日」認知は全体で15%程度であり、
 2013年（17%）と比べて、ほとんど変わっていない。
 なお、男女ともに牛乳飲用頻度が高い人ほど
 「牛乳の日」の認知が高い。
 （ただし「毎日」は「週3～6」よりも認知が低くなっている。）

「牛乳の日」認知状況（牛乳飲用頻度増加者）

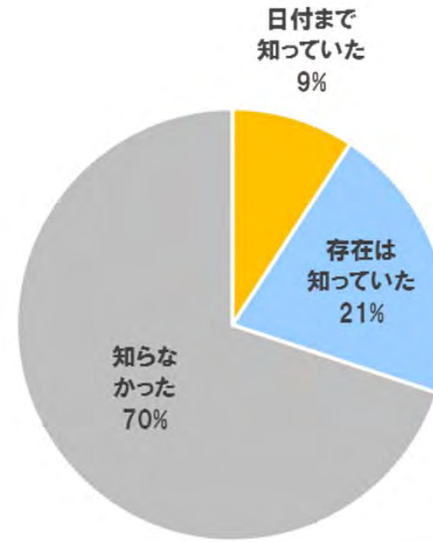
あなたご自身は、この調査以前に、「牛乳の日(6月1日)」について、どれくらいご存知でしたか。

全体



N=10395

今現在、牛乳の飲用（利用）頻度が増加している人



N=1480

継続
新知見

**牛乳類飲用（利用）頻度が増加している人は
全体に比べて「牛乳の日」の認知が高い。**

（※ただし「牛乳の日」の影響によって増加したのかは検証が必要。）